

令和元年度の森林環境税による森林環境整備事業実績に係る評価および令和２年度事業計画（中間報告）について

令和２年９月

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室

目次

- (1) 危険渓流の流木対策事業
- (2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業
- (3) 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）
- (4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）
- (5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源活用）
- (6) 子育て施設木のぬくもり推進事業

(1) 危険渓流の流木対策事業

【目的】

局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をふさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。

【事業概要】

- ・事業対象区域：山地災害危険地区「崩壊土砂流出危険地区」、保安林外
(危険度Aランク・保全対象20戸以上・治山事業の未着手地域)
- ・事業箇所数：30箇所
- ・事業内容：
 - ・ハード対策
土石流発生を抑止する治山ダムの整備
流木となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出
防災機能を強化する荒廃森林の整備（強度間伐等）
 - ・ソフト対策
防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成
事業の効果検証等
- ・事業の工程：初年度～ 現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）
森林所有者、市町村、地元自治会等との調整
森林所有者と協定書を締結し事業実施
※協定書により、10年間の森林の維持



土石流や流木の被害を防ぐ治山ダム



災害に強い強度間伐による森づくり



小学校での防災教室



地域協働によるマップづくり

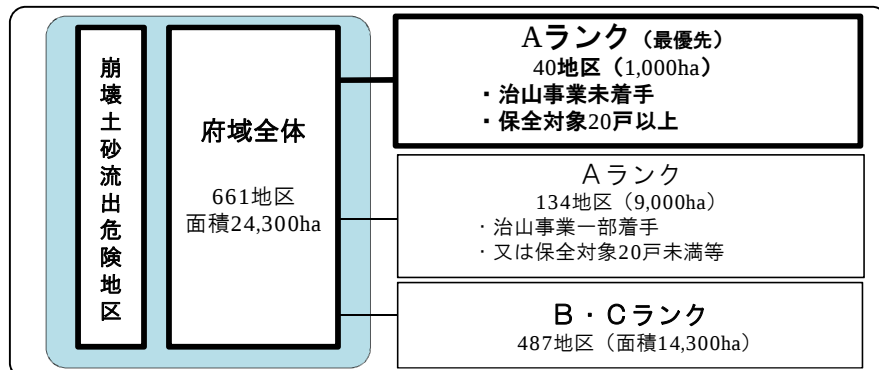
(単位：千円)

※R1までに着手

【当初事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		R1～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	30	2,006,632	8	298,000	16	522,000	16	546,000	20	640,632
(新規着手件数)			(8)		(8)		(8)		(6)	

事業対象区域の選定方法



事業実施

豪雨時に流出の恐れのある
渓流沿いの危険木



実施箇所

■事業対象区域

- 保安林外
対象：30地区（面積750ha）

【参考】

保安林内については、平成27年度より、知事重点事業として国庫補助金も活用し、先行して実施（H27～）
対象：10地区（面積250ha）

自然災害から府民の暮らしを守る 危険渓流の流木対策

(1)-1

近年の災害の状況



水路閉塞による国道通行止
H26年8月(箕面市)



渓流閉塞による国道通行止
H25年9月(千早赤阪村)

施行地の全景



山地に近接する住宅地の状況
(東大阪市)

整備前



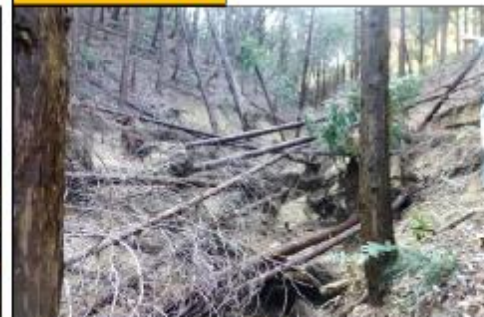
- ・流木防止のための治山ダム
- ・倒木、危険木の伐採・搬出
- ・強度間伐と広葉樹の植栽等

整備後



強度間伐、広葉樹植栽等による
針広混交林化

渓流内の状況



流木となる恐れのある林内の
倒木・危険木の状況(枚方市)

整備内容



治山ダムの設置により、渓流勾配を
緩和し土石流の発生を未然に防止(千早赤阪村)



森林整備(間伐)による表土
流出の防止(千早赤阪村)

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績

箇所名	計画数量					実績数量				
	土石流対策		流木対策	減災対策		土石流対策		流木対策	減災対策	
	治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)	治山ダム(基)	森林整備(ha)	渓流延長(m)	森林危険情報マップ(箇所)※	防災教室(回)
(1) 能勢町宿野 (しゅくの)	1	3.4	100	—	—	1	8.9	100	—	—
(2) 高槻市出灰 (いずりは)	1	—	1,600	—	—	1	—	1,600	—	—
(3) 能勢町山辺 (やまべ)	3	5.0	200	1	1	3	1.6	500	—	—
(4) 高槻市成合 (なりあい)	2	5.0	200	1	1	2	0.1	130	—	—
(5) 高槻市原 (はら)	1	—	200	1	1	—	—	—	1	1
(6) 高槻市原 (はら)	—	2.0	—	1	1	—	1.8	—	1	1
(7) 交野市私市 (きさいち)	1	2.0	100	—	—	1	1.0	85	—	—
(8) 四條畷市南野 (みなみの)	—	—	400	—	—	—	0.3	250	—	—
(9) 交野市森 (もり)	2	2.0	100	1	1	2	1.8	100	1	1
(10) 八尾市神立 (こうだち)	1	2.0	100	1	1	1	1.8	100	1	1
(11) 東大阪市日下 (くさか)	—	—	200	1	1	—	—	220	1	1
(12) 東大阪市上石切 (かみいしきり)	—	2.0	100	1	1	—	—	300	1	1
(13) 八尾市黒谷 (くろだに)	—	2.0	100	1	1	—	—	140	1	1
(14) 河内長野市天見 (あまみ)	2	—	200	1	—	2	—	200	1	—
(15) 千早赤阪村千早 (ちはや)	2	4.0	200	1	1	2	3.2	200	1	1
(16) 河内長野市加賀田 (かがた)	2	1.0	200	1	1	2	0.7	200	1	1
(17) 河内長野市加賀田 (かがた)	2	1.0	200	1	1	2	—	200	1	1
(18) 千早赤阪村千早 (ちはや)	2	1.0	200	1	1	2	0.7	200	1	1
(19) 和泉市仏並町 (ぶつなみ)	—	2.5	—	—	—	—	3.1	—	—	—
(20) 岸和田市相川町 (そうかわ)	—	0.1	—	—	—	—	0.3	—	—	—
(21) 和泉市横尾山町 (まきおさんちょう)	2	10.0	300	1	1	2	6.2	500	1	—
(22) 貝塚市木積 (こつみ)	—	—	—	—	—	—	4.8	—	—	1
	24	45.0	4,700	15	14	23	36.3	5,025	13	12

※：1年目：原案、2年目：マップ完成

凡 例

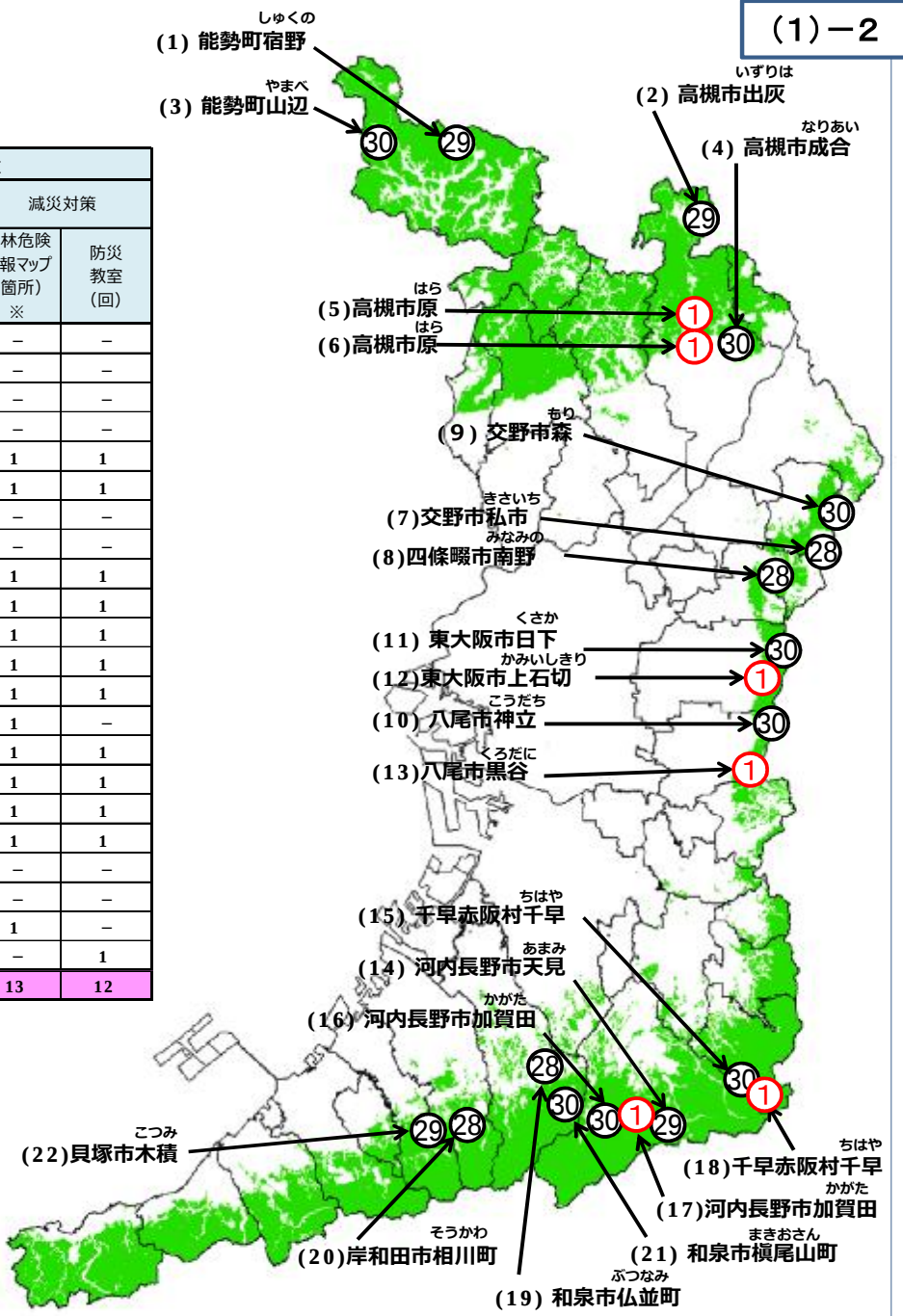
地域森林計画対象民有林

28 平成28年度着手箇所(4箇所)

29 平成29年度着手箇所(4箇所)

30 平成30年度着手箇所(8箇所)

1 令和元年度着手箇所(6箇所)

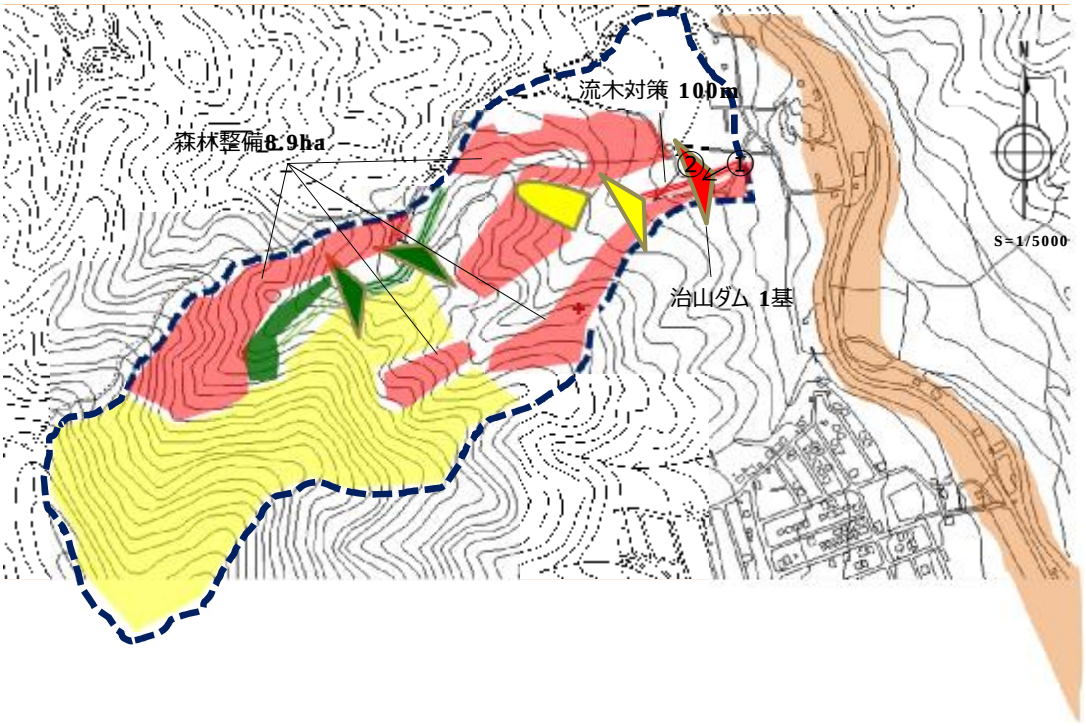


令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績

しゅくの
(1) 能勢町宿野地区

(1)－2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	1	1	森林整備：詳細な調査・測量をした結果、マツ枯れ被害を広範に確認したため、整備区域が増加
森林整備（ha）	3.4	8.9	
流木対策（m）	100	100	

【凡例】			
山地災害危険地区	治山ダム（H29・30）	流木対策（H29・30）	
保全対象	治山ダム（R1）	流木対策（R1）	
①→ 写真撮影位置	治山ダム（R2）	流木対策（R2）	
	山腹工（R2）	森林整備（H30）	
		森林整備（R1）	
		森林整備（R2）	

【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況

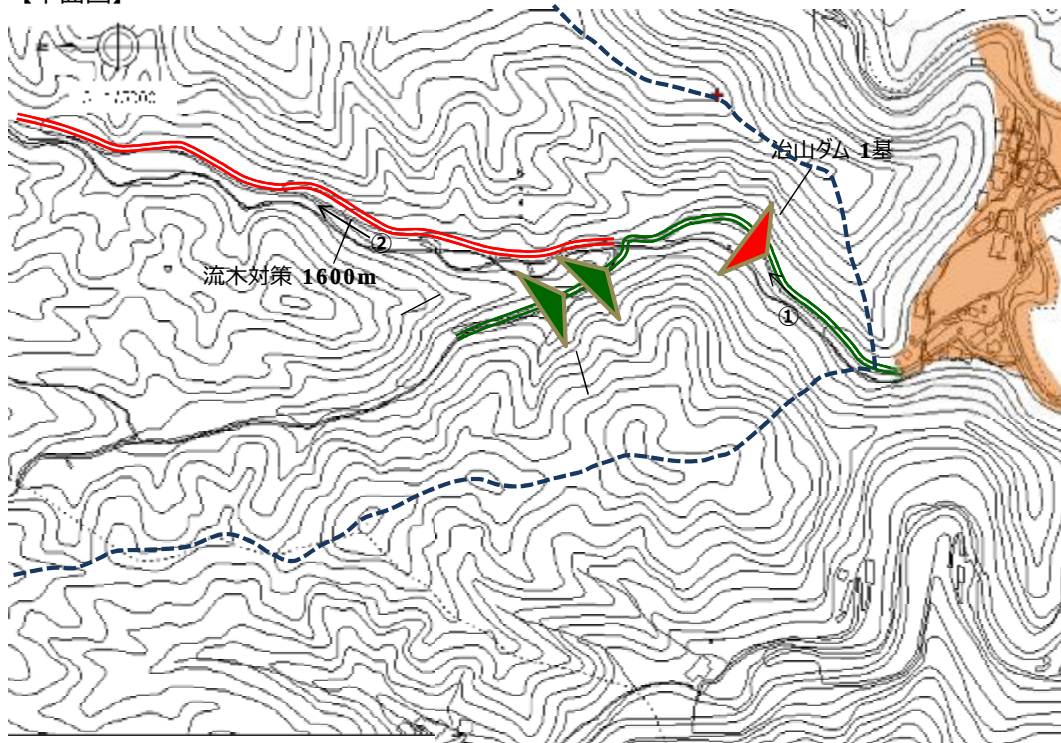


写真② 護岸工の設置状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (2) 高槻市出灰地区

(1) - 2

【平面図】



【R1年度の施工状況】



撮影日：R2.6.29

写真① 治山ダム（鋼製）設置状況



撮影日：H30.9.20



撮影日：R2.9.2

写真② 流木対策 施工前後状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	1	1	
流木対策（m）	1600	1600	

【凡例】

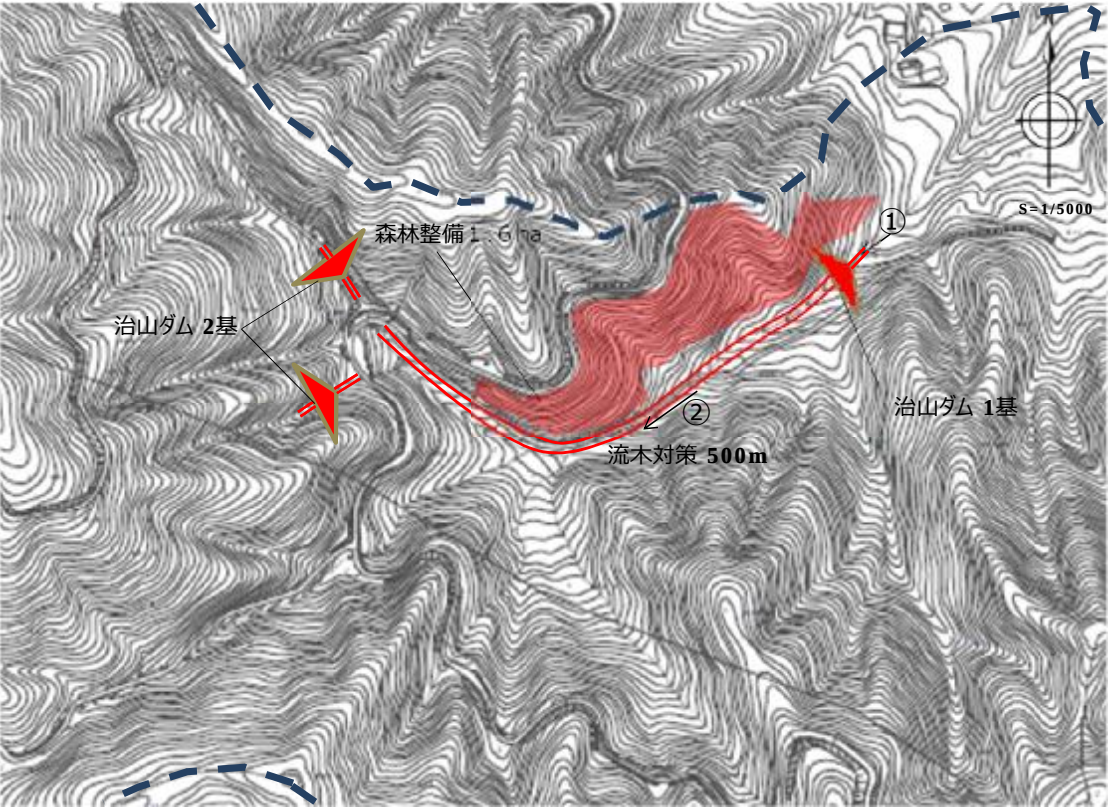
- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 治山ダム（H30）
- 治山ダム（R1）
- 流木対策（H30）
- 流木対策（R1）

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績

やまへ
(3) 能勢町山辺地区

(1)－2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	3	3	森林整備：詳細な調査・測量をした結果、整備区域が減少（上流の治山ダム周辺は樹冠が閉塞しており下層植生が侵入していたため、計画地から除外） 流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備延長が増加
森林整備（ha）	5.0	1.6	
流木対策（m）	200	500	

【凡例】

山地災害危険地区

治山ダム（R1）

流木対策（R1）

保全対象

森林整備（R1）

①→ 写真撮影位置

【R1年度の施工状況】



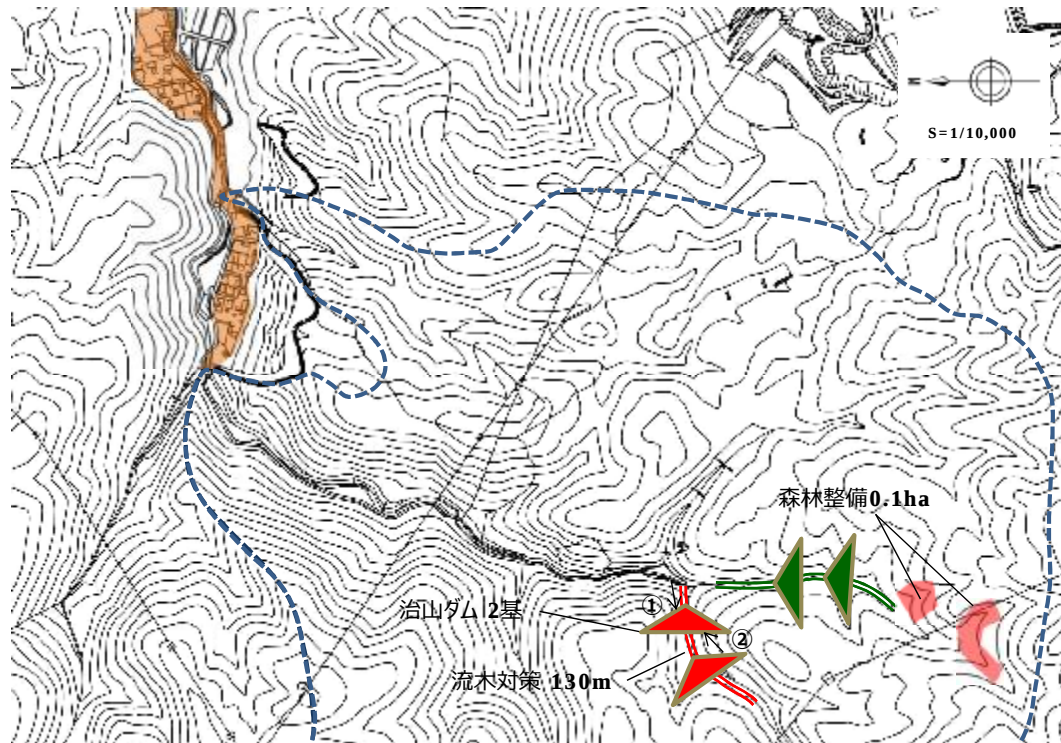
写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 流木対策の完了状況

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績 (4) 高槻市成合地区

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 流木対策の完了状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：計画していた森林が風倒木被害を受けたため実施を見送り、流木の恐れがある渓流沿いの風倒木処理を実施 また、所有者同意を得られなかった箇所があり、整備面積が減少 流木対策：詳細な調査の結果、対策延長が減少
森林整備（ha）	5.0	0.1	
流木対策（m）	200	130	

【凡例】

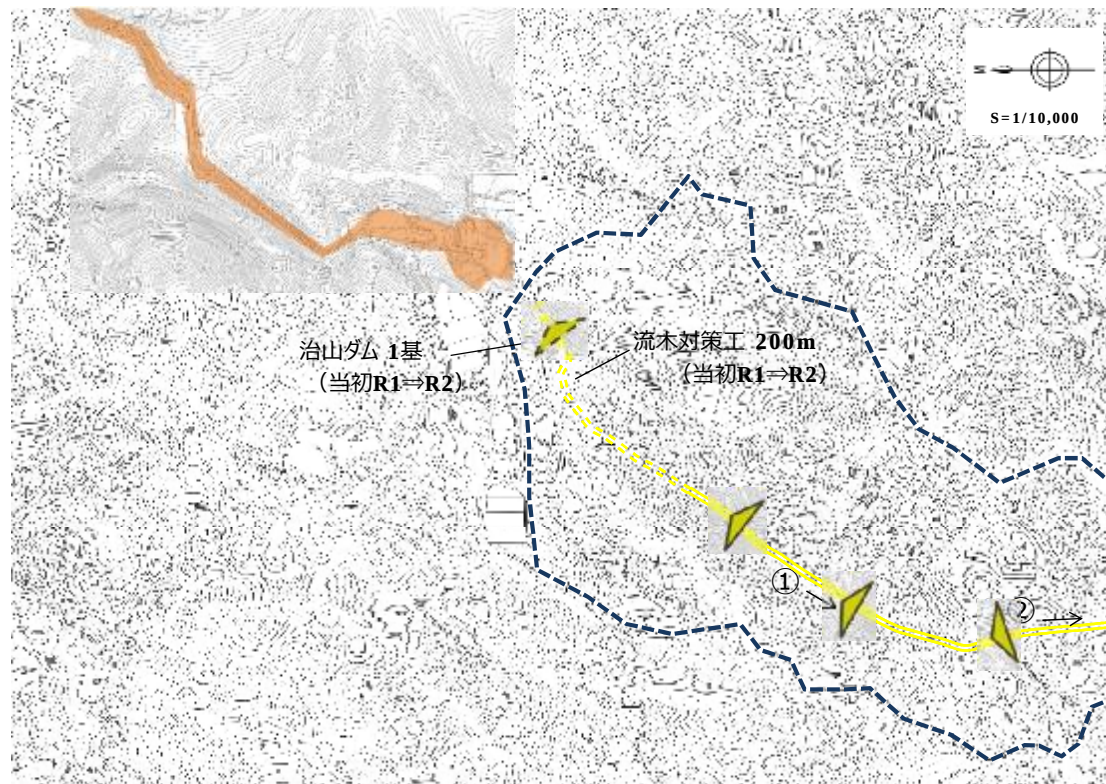
- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- ▲ 治山ダム（H30）
- ▲ 治山ダム（R1）
- 森林整備（R1）
- 流木対策（H30）
- 流木対策（R1）

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績

（5）高槻市原地区

(1) - 2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	1	0※	※他地区の風倒木被害地対応を優先したため、見送り。（R2実施予定）
流木対策（m）	200	0※	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 治山ダム（R1⇒R2）
- 治山ダム（R2）
- 流木対策（R1⇒R2）
- 流木対策（R2）

【R2年度計画地の状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の計画箇所



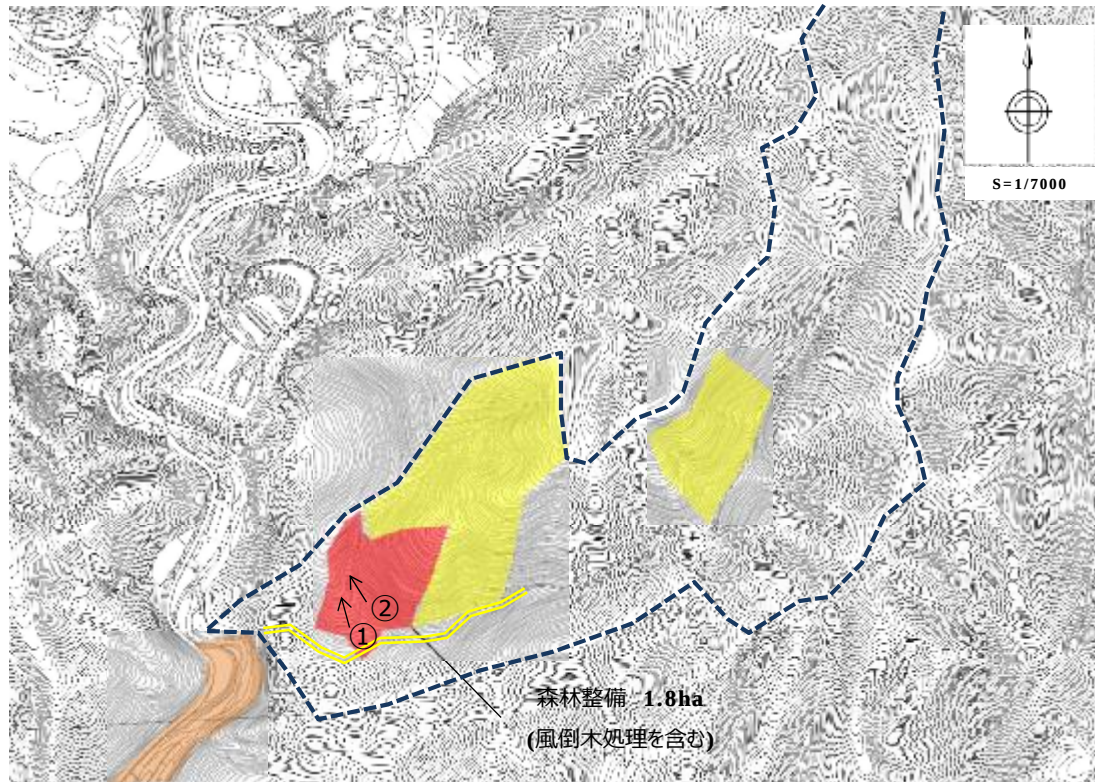
写真② 流木対策の計画箇所

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績

はら (6) 高槻市原地区

(1) - 2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム (基)	—	—	
森林整備 (ha)	2.0	1.8	
流木対策 (m)	—	—	

【凡例】

- 山地区災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 森林整備 (R1)
- 森林整備 (R2)
- 流木対策 (R2)

【R1年度の施工状況】



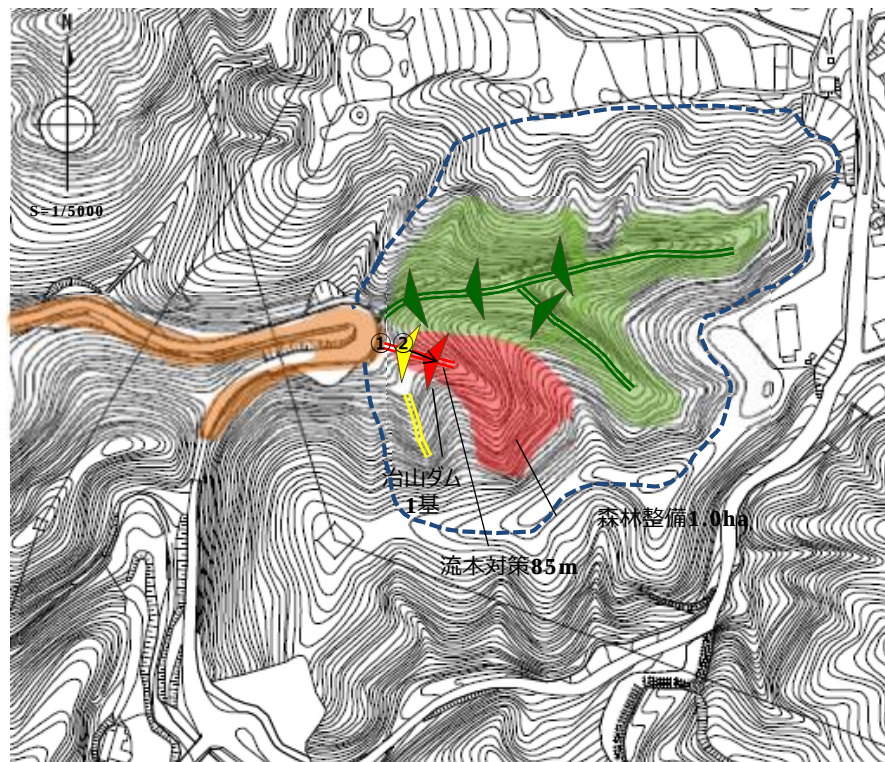
写真① 本数調整伐の完了状況



写真② 風倒木処理の完了状況

令和元年度 危険渓流の流木対策事業 (7) 交野市私市地区

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 施工前（倒木等の状況）



写真② 治山ダム（コンクリート）流木対策の実施状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	1	1	森林整備：詳細な調査・測量した結果、想定よりナラ枯れ被害の範囲が狭く、整備区域が減少
森林整備（ha）	2.0	1.0	
流木対策（m）	100	85	

【凡例】

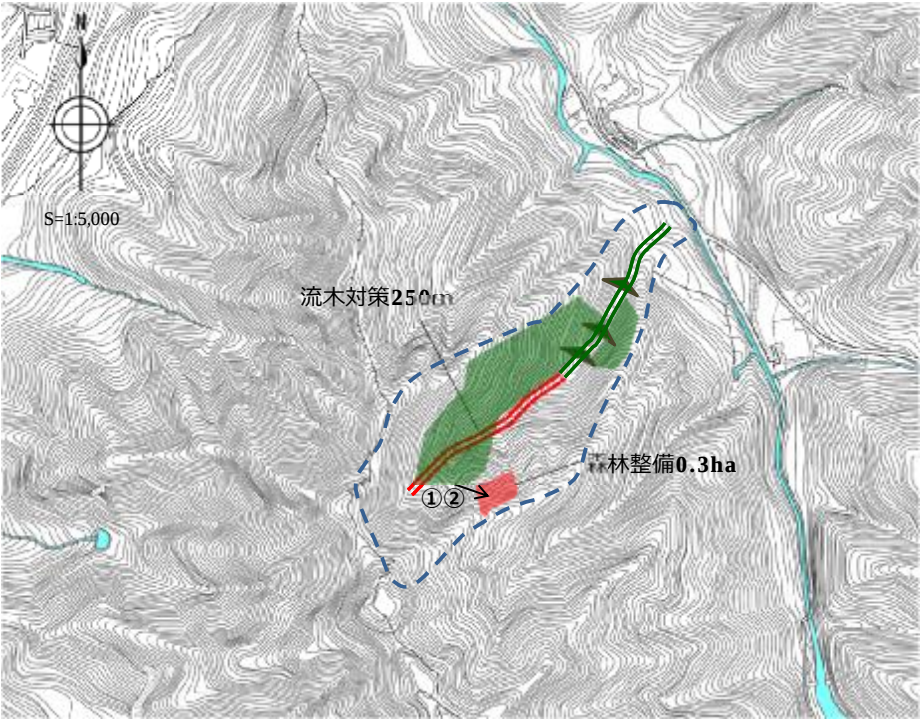
- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ① → 写真撮影位置
- 治山ダム（H28,29）
- 治山ダム（R1）
- 治山ダム（R2）
- 森林整備（H28,29）
- 森林整備（R1）
- 流木対策（H28,29）
- 流木対策（R1）
- 流木対策（R2）

みなみの

令和元年度 危険溪流の流木対策事業（8）四條畷市南野地区

(1)－2

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 森林整備施工前（風倒木の状況）



写真② 森林整備（風倒木処理）の実施状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	—	—	森林整備：現地再精査の結果、風倒木被害地を確認したことから風倒木処理を追加 流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備延長が減少
森林整備（ha）	—	0.3	
流木対策（m）	400	250	

【凡例】

山地災害危険地区

保全対象

①→ 写真撮影位置

治山ダム（H28,29）

流木対策（H28,29）

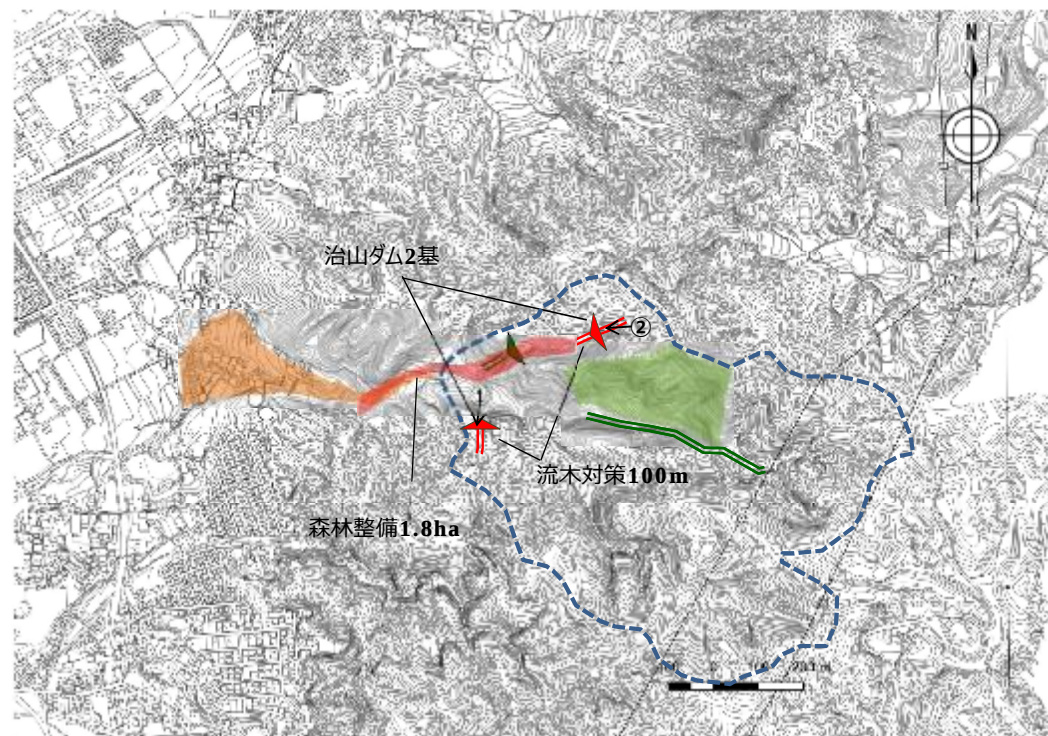
流木対策（R1）

森林整備（H28,29）

森林整備（R1）

もり
令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (9) 交野市森地区

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）の設置状況



写真② 流木対策の実施状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	2.0	1.8	
流木対策（m）	100	100	

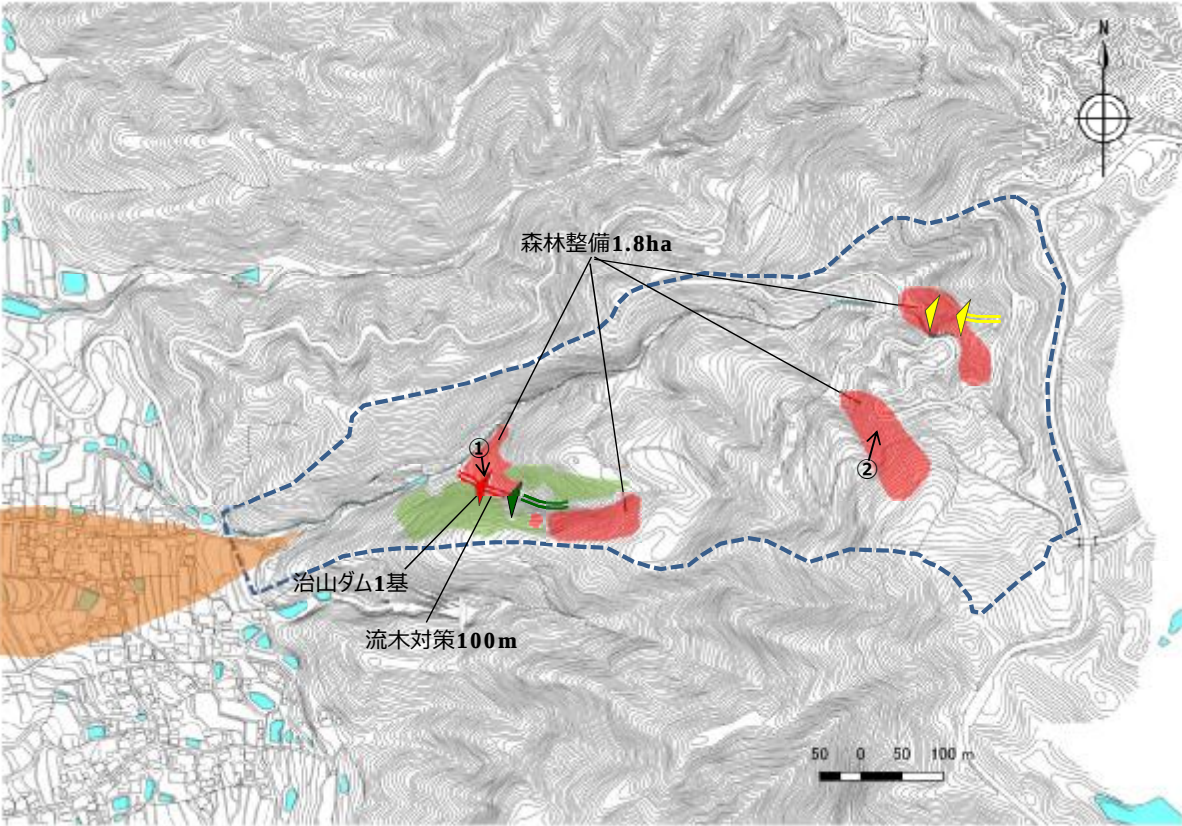
【凡例】	治山ダム（H30）	流木対策（H30）
山地災害危険地区	治山ダム（R1）	流木対策（R1）
保全対象	森林整備（H30）	
①→ 写真撮影位置	森林整備（R1）	

こうだち

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績（10）八尾市神立地区

(1)－2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	1	1	
森林整備（ha）	2.0	1.8	
流木対策（m）	100	100	

【凡例】		森林整備（H30）
山地災害危険地区	治山ダム（H30）	森林整備（R1）
保全対象	治山ダム（R1）	流木対策（H30）
①→ 写真撮影位置	治山ダム（R2）	流木対策（R1）
		流木対策（R2）

【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（鋼製）設置状況

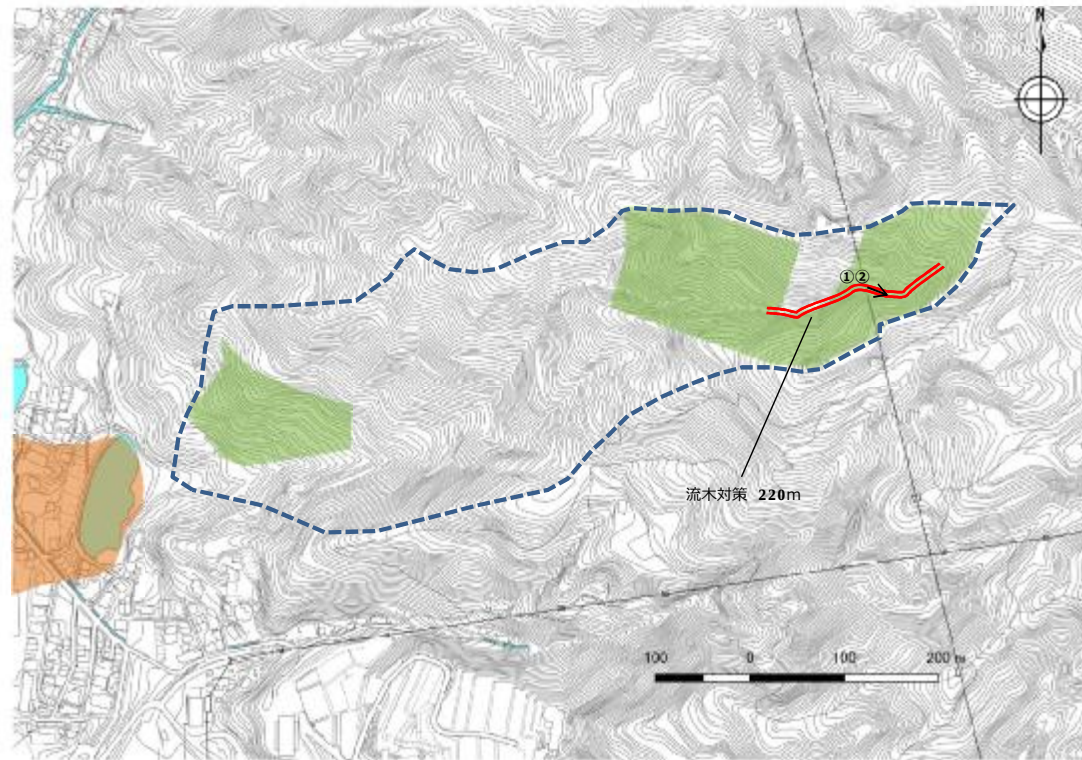


写真② 森林整備の実施状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (11) 東大阪市くさか日下地区

(1)-2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム (基)	—	—	
森林整備 (ha)	—	—	
流木対策 (m)	200	220	

【凡例】

- 山地災害危険地区 森林整備 (H30) --- 流木対策 (R1)
 保全対象
 ①→ 写真撮影位置

【R1年度の施工状況】



写真① 流木対策施工前 (倒木、枯損木等の状況)



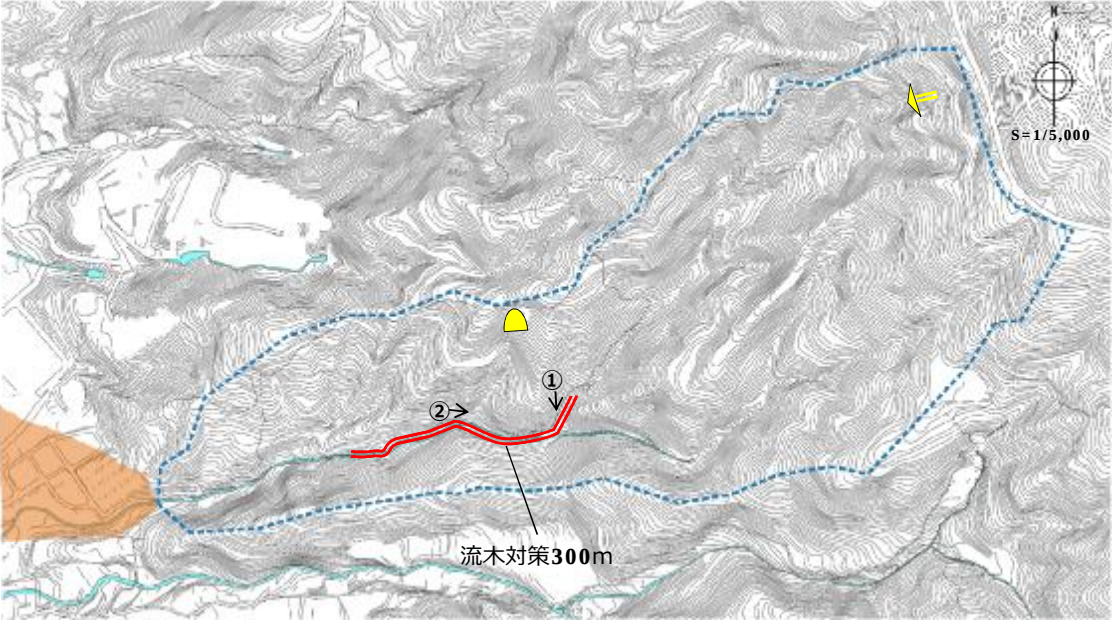
写真② 流木対策の完了状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (12) 東大阪市上石切地区

かみいしきり

(1)-2

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 流木対策施工前・後（倒木等の状況）

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	—	—	森林整備：所有者の同意が得られず、減。引き続き理解が得られるよう努める。 流木対策：詳細な調査・測定の結果、整備延長が増加
森林整備（ha）	2.0	—	
流木対策（m）	100	300	

【凡例】			
山地災害危険地区	治山ダム（R2）	流木対策（R1）	
保全対象	山腹工（R2）	流木対策（R2）	
①→ 写真撮影位置			



写真② 流木対策の完了状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (13) 八尾市黒谷地区

(1)-2

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 流木対策施工前（倒木、枯損木等の状況）

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	—	—	森林整備：所有者の同意が得られず、減。引き続き理解が得られるよう努める。 流木対策：詳細な調査・測量の結果、整備延長が増加
森林整備（ha）	2.0	—	
流木対策（m）	100	140	

【凡例】

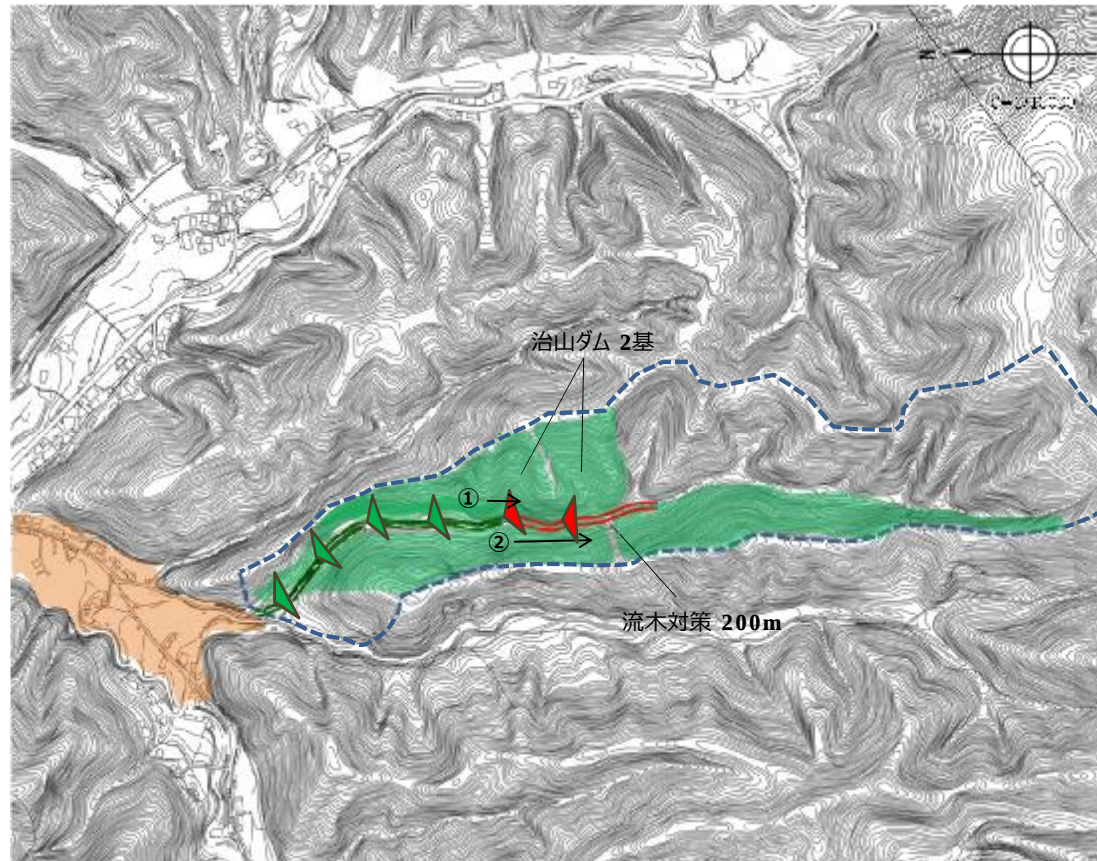
- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 流木対策（R1）
- 流木対策（R2）
- 治山ダム（R2）



写真② 流木対策の完了状況

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績 (14) 河内長野市天見地区

【平面図】



【R1年度の施工状況】



撮影日：R2.5.11

写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



撮影日：R2.6.19

写真② 流木対策の完了状況

内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	
森林整備（ha）	—	—	
流木対策（m）	200	200	

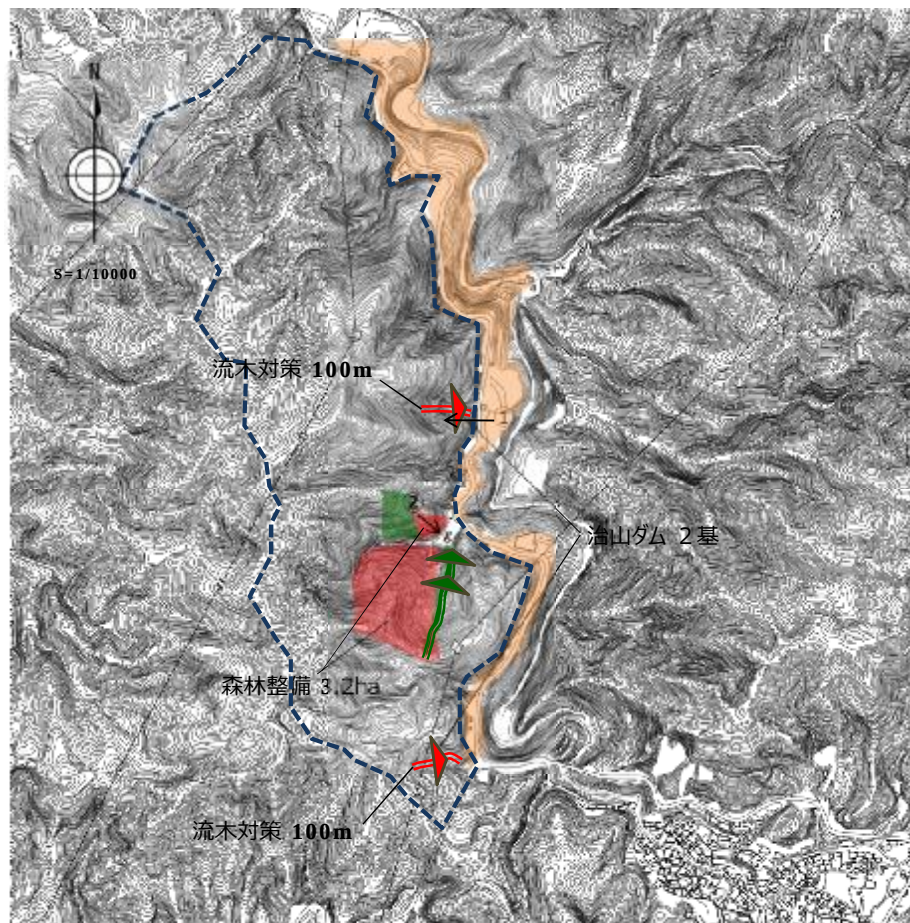
【凡例】

- 山地災害危険地区
 ▲ 治山ダム（H29・30）
 ▲ 治山ダム（R1）
 --- 流木対策（H29・30）
 --- 流木対策（R1）
- 保全対象
 ■ 森林整備（H29・30）
- ①→ 写真撮影位置

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績（15）千早赤阪村千早地区

(1)-2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：詳細な調査・測量を実施した結果、整備区域が減少
森林整備（ha）	4.0	3.2	
流木対策（m）	200	200	

【凡例】	治山ダム（H30）	流木対策（H30）
山地災害危険地区	治山ダム（R1）	流木対策（R1）
保全対象	森林整備（H30）	
①→ 写真撮影位置	森林整備（R1）	

【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況

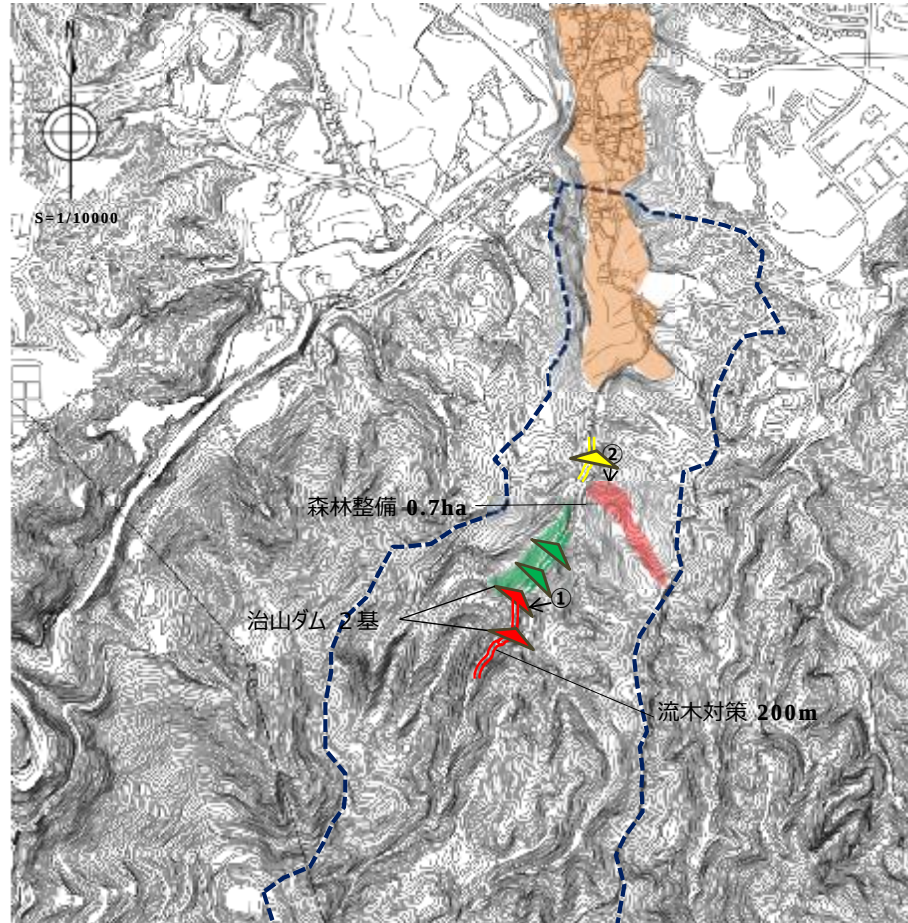


写真② 森林整備（間伐）の完了状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績（16）河内長野市加賀田地区

(1)－2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
森林整備（ha）	1.0	0.7	
流木対策（m）	200	200	

【凡例】

山地災害危険地区	治山ダム（H30）	流木対策（R1）
保全対象	治山ダム（R1）	流木対策（R2）
①→ 写真撮影位置	治山ダム（R2）	森林整備（H30）
	流木対策（H30）	森林整備（R1）

【R1年度の施工状況】



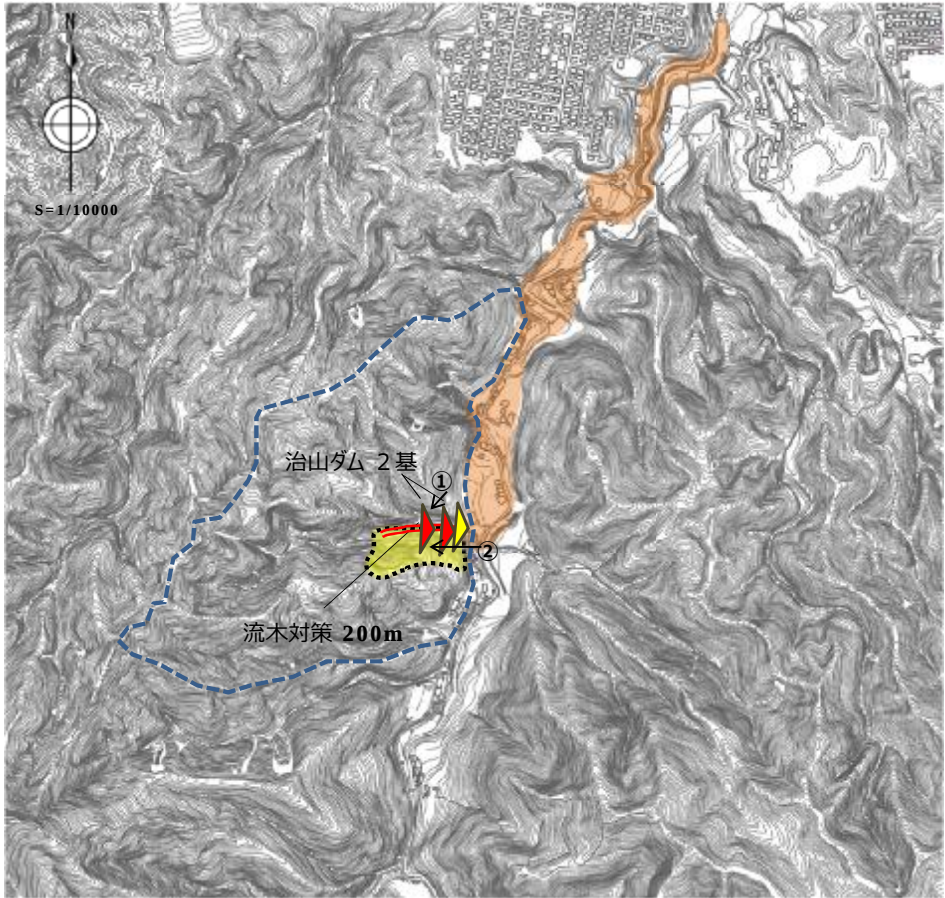
写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 森林整備（間伐）の完了状況

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績（17）河内長野市加賀田地区

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：地籍混乱地につき、所有者確認に時間を要したため減少（R2実施予定）
森林整備（ha）	1.0	－	
流木対策（m）	200	200	

【凡例】

山地災害危険地区

保全対象

①→ 写真撮影位置

治山ダム（R1）

治山ダム（R2）

森林整備（R1⇒R2）

流木対策（R1）

【R1年度の施工状況】



写真①治山ダム（コンクリート）の設置状況

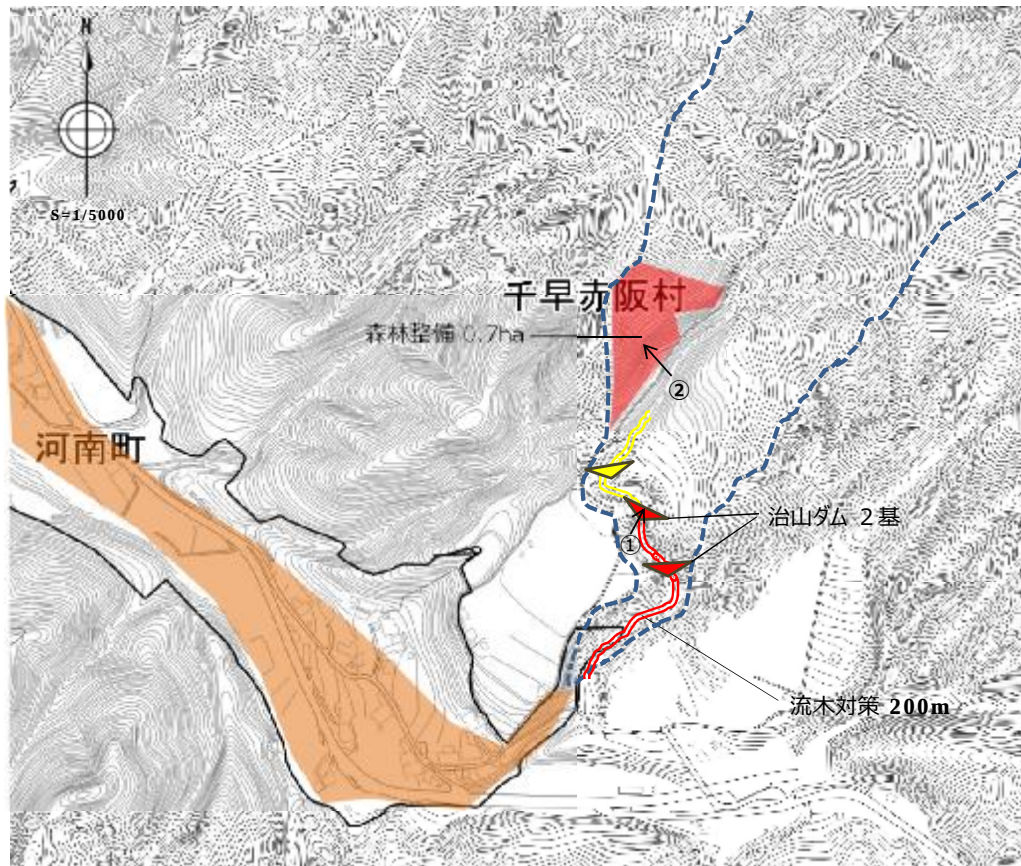


写真② 流木対策の完了状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績（18）千早赤阪村千早地区

(1)－2

【平面図】



【R1年度の施工状況】



写真① 治山ダム（コンクリート）の設置状況



写真② 森林整備（間伐）の完了状況

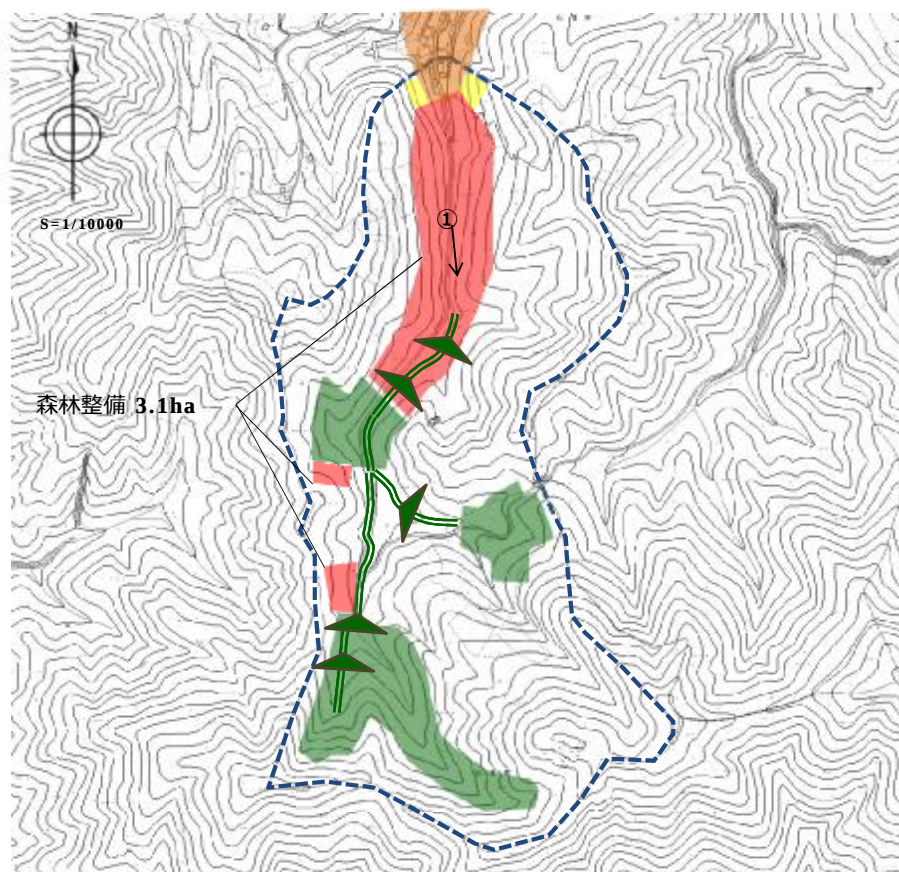
内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム（基）	2	2	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が減少
森林整備（ha）	1.0	0.7	
流木対策（m）	200	200	

【凡例】

- 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- 治山ダム（R1）
- 治山ダム（R2）
- 森林整備（R1）
- 流木対策（R1）
- 流木対策（R2）

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (19) 和泉市仏並町地区

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
森林整備（ha）	2.5	3.1	森林整備：詳細な調査・測量した結果、整備区域が増加

【凡例】

	山地災害危険地区		治山ダム (H28,29)		流木対策 (H28,29)
	保全対象		森林整備 (H28,29)		
	写真撮影位置		森林整備 (R1)		
			森林整備 (R2)		

【施工前】



【施工後】



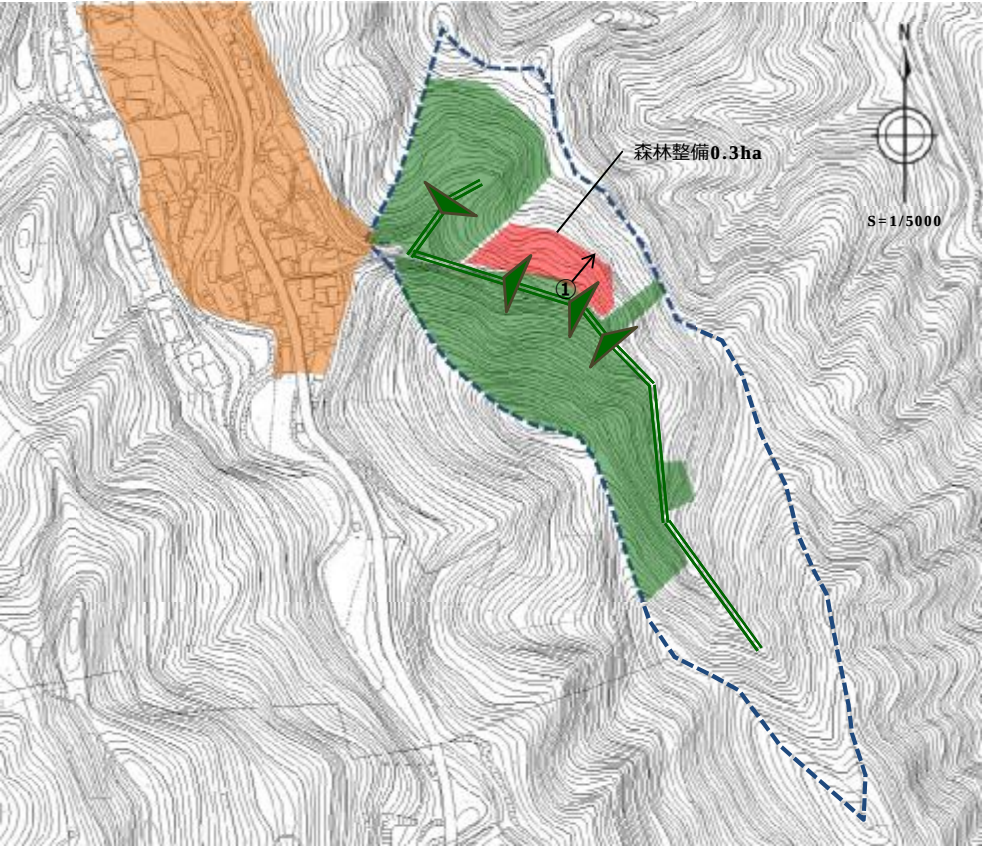
写真① 森林整備（被害木整理）の完了状況

令和元年度 危険渓流の流木対策事業実績 (20) 岸和田市相川町地区

そうかわちょう

(1) - 2

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
森林整備 (ha)	0.1	0.3	森林整備：詳細な調査・測量をした結果、整備区域が増加

【凡例】

- 山地災害危険地区 ● 治山ダム (H28,29) ● 流木対策
● 保全対象 ● 森林整備 (H28,29) ● (H28,29)
①→ 写真撮影位置 ● 森林整備 (R1)

【施工前】



撮影日：H30.9.5

【施工後】



撮影日：R1.9.3

写真① 森林整備（被害木整理）の完了状況

令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (21) 和泉市横尾山町地区

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
治山ダム (基)	2	2	森林整備：地籍混乱地につき、所有者確認に時間を要したため減少 (R2実施予定) 流木対策：詳細な調査・測量をした結果、整備延長が増加
森林整備 (ha)	10.0	6.2	
流木対策 (m)	300	500	

【凡例】	治山ダム (H30)	流木対策 (H30)
山地災害危険地区	治山ダム (R1)	流木対策 (R1)
保全対象	治山ダム (R2)	流木対策 (R2)
①→ 写真撮影位置	森林整備 (R1)	森林整備 (R1⇒R2)

【R1年度の施工状況】



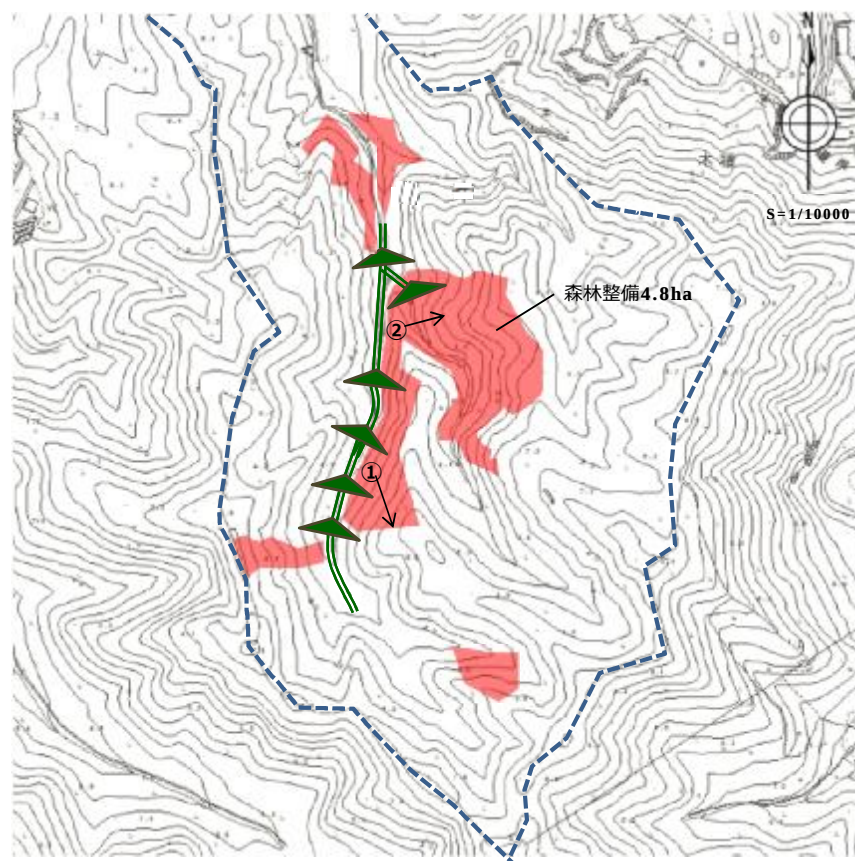
写真① 治山ダム（コンクリート）の完了状況



写真② 治山ダム（鋼製）の完了状況

こつみ 令和元年度 危険溪流の流木対策事業実績 (22) 貝塚市木積地区

【平面図】



内容	R1計画	R1実績	備考
森林整備 (ha)	—	4.8	森林整備：平成30年度実施を予定していたが、所有者確認に時間を要したため、先送りした箇所について実施

【凡例】

- ⋯⋯ 山地災害危険地区
- 保全対象
- ①→ 写真撮影位置
- ▲ 治山ダム (H29,30)
- 森林整備 (R1)
- 流木対策 (H29,30)

【R1年度の施工状況】



写真① 森林整備（間伐）の完了状況



写真② 森林整備（間伐）の完了状況

令和元年度の防災教室等の実施状況

【防災教室実施一覧表】

	箇 所	開催日	参加人数	アンケート実施※
1.	高槻市原	R1.7.16	10	
2.	高槻市原	R1.6.14	14	
3.	交野市森	R1.12.20	17	○
4.	八尾市神立	R1.5.31	10	○
5.	東大阪市日下	R1.12.24	14	○
6.	東大阪市上石切	R1.12.24	11	
7.	八尾市黒谷	R2.1.28	11	
8.	千早赤阪村千早	R2.1.24	10	○
9.	河内長野市加賀田	R1.10.29	16	
10.	河内長野市加賀田	R1.11.13	20	
11.	千早赤阪村千早	R1.11.23	28	
12.	貝塚市木積	R1.5.19	23	○

※ 平成30年度着手箇所において、アンケートを実施
 (防災教室を延期した能勢町山辺、高槻市成合、和泉市槇尾山町地区、
 及び、R2最終年度の9.河内長野市加賀田地区はR2年度に実施)



防災教室の様子（八尾市黒谷）



防災教室の様子（千早赤阪村千早）



防災教室の様子（千早赤阪村千早）



防災教室の様子（貝塚市木積）



防災教室の様子（貝塚市木積）



現場案内の様子（交野市森地区）

令和2年度 危険渓流の流木対策事業の実施について

【平成28～令和元年度実績・令和2年度計画】

	新規 着手	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
平成28年度着手	8箇所	8	8		4	2
平成29年度着手	8箇所		8	8	4	1
平成30年度着手	8箇所			8	8	5
令和元年度着手	6箇所				6	6
合 計	30箇所	8箇所	16箇所	16箇所	22箇所	14箇所

◆年度別着手箇所

年度	箇 所	箇所数
H28～	豊能町吉川 池田市伏尾町 交野市私市 四條畷市南野 千早赤阪村水分・河南町青崩 千早赤阪村水分中代 和泉市仏並町 岸和田市相川町	8箇所
H29～	能勢町宿野 高槻市出灰 交野市私市北 大東市寺川 河南町下河内 河内長野市天見 貝塚市本積 和泉市春木川町	8箇所
H30～	能勢町山辺 高槻市成合 交野市森 東大阪市日下 八尾市神立 千早赤阪村千早 河内長野市加賀田 和泉市横尾山町	8箇所
R1～	高槻市原 高槻市原 東大阪市上石切 八尾市黒谷 河内長野市加賀田 千早赤阪村千早	6箇所
計		30箇所

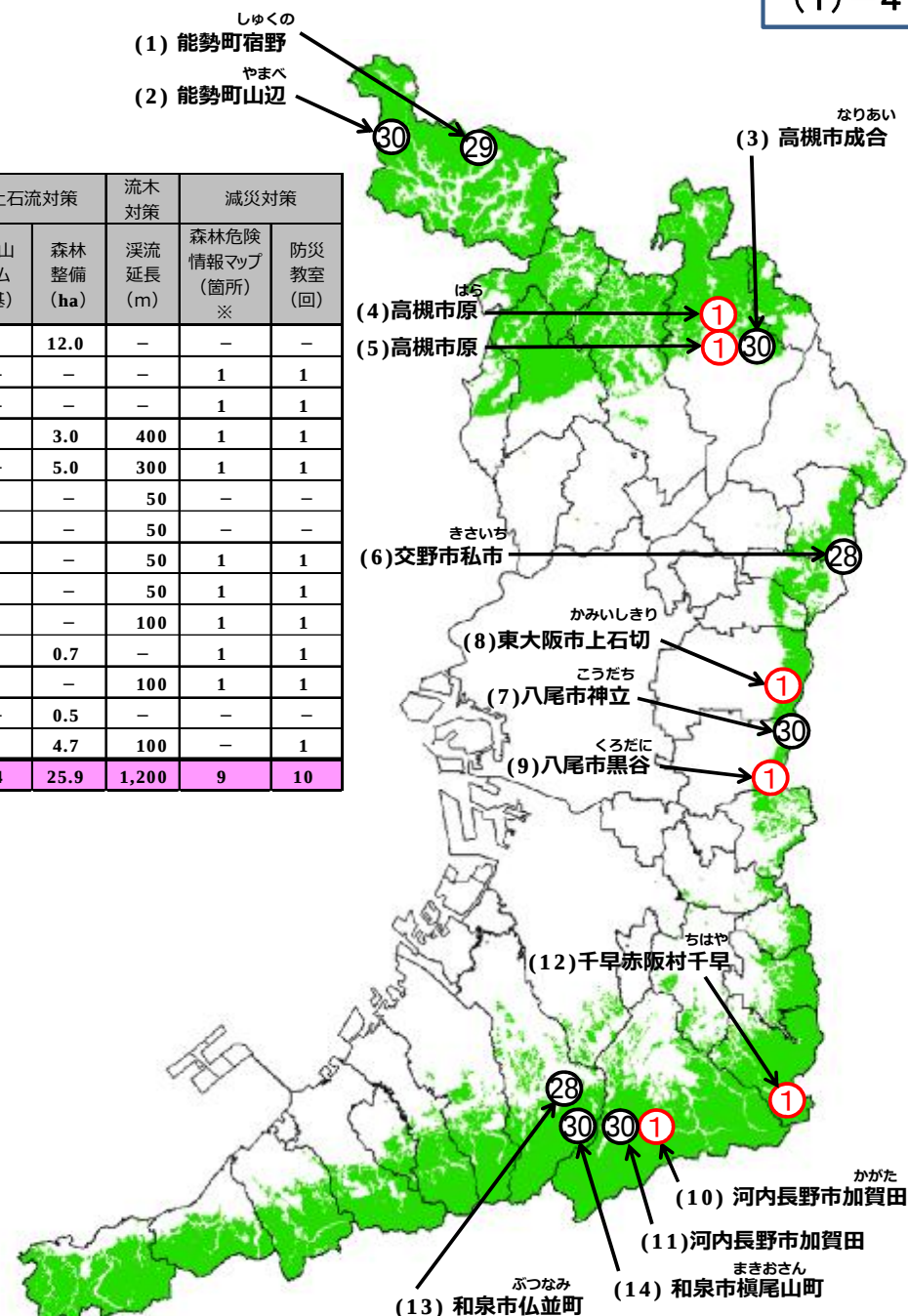
【令和2年度計画】

箇所名	土石流対策		流木 対策	減災対策	
	治山 ダム (基)	森林 整備 (ha)	渓流 延長 (m)	森林危険 情報マップ (箇所) ※	防災 教室 (回)
(1) 能勢町宿野 (しゅくの)	1	12.0	—	—	—
(2) 能勢町山辺 (やまべ)	—	—	—	1	1
(3) 高槻市成合 (なりあい)	—	—	—	1	1
(4) 高槻市原 (はら)	4	3.0	400	1	1
(5) 高槻市原 (はら)	—	5.0	300	1	1
(6) 交野市私市 (きさいち)	1	—	50	—	—
(7) 八尾市神立 (こうだち)	2	—	50	—	—
(8) 東大阪市上石切 (かみいしきり)	1	—	50	1	1
(9) 八尾市黒谷 (くろだに)	1	—	50	1	1
(10) 河内長野市加賀田 (かがた)	1	—	100	1	1
(11) 河内長野市加賀田 (かがた)	1	0.7	—	1	1
(12) 千早赤阪村千早 (ちはや)	1	—	100	1	1
(13) 和泉市仏並町 (ぶつなみ)	—	0.5	—	—	—
(14) 和泉市横尾山町 (まきおさん)	1	4.7	100	—	1
	14	25.9	1,200	9	10

※：1年目：原案、2年目：マップ完成

凡 例

- 地域森林計画対象民有林
- 28 平成28年度着手箇所 (2箇所)
- 29 平成29年度着手箇所 (1箇所)
- 30 平成30年度着手箇所 (5箇所)
- 1 令和元年度着手箇所 (6箇所)



令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名		みどり推進室森づくり課					
担当グループ名		森林整備グループ					
連絡先		(06)6210-9559					
事業概要		1 事業概要					
事業実施年度		令和元年度					
評価年月日		令和2年9月23日					
① 概要		施策区分 自然災害から府民の暮らしを守る取組み					
事業名		危険渓流の流水対策事業					
事業概要		流水対策・土石流発生源対策					
事業開始年度		平成28年度					
② 事業の目的		局地的な集中豪雨が頻繁に発生し、土石流の発生時に渓流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路等をろさぎ、冠水や交通遮断など市街地における被害を拡大させる流木災害を未然に防止する。					
③ 事業費		年度別推移					
当年初計画		H28	H29	H30	R1	R2	合計
現計画		298,000	522,000	546,000	640,632		2,006,632
執行額		251,274	455,238	517,033	663,318	410,400	2,297,283
		251,274	455,238	517,033	663,318		-
④ 事業の内容		事業対象区域：山地災害危険地区「崩壊・土砂流出危険地区」、保安林外（危険度Aラック・保全対象20戸以上・治山事業の未着手地域） 事業箇所数：30箇所 事業内容： ①ハート対策 土石流発生を抑制する治山ダムの整備 流水となる危険性の高い渓流沿いの立木の伐採、林外搬出 防災機能を強化する荒廃森林の整備（強度間伐等） ②ソフト対策 防災教室の開催、地域との協働による森林危険情報マップの作成 事業の効果検証等					

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
⑤ 実績検証の内容	土石流対策	指 標 治山ダム 検証方法 事業の完成検査	24基	23基	治山ダムについては、平成30年9月の台風21号による風倒木被害への対応のため、基数が減少した。 森林整備については、現地再精査の結果や、土地所有者の確認に時間を要するなどしたため、面積が減少した。 流水対策については、現地再精査の結果、延長が伸びた。 減災対策については、地元調整や新型コロナウイルスの影響等に 計画どおり実施できなかった箇所について、令和2年度に 実施予定。 全体としては概ね計画通りに実施した。 (※詳細については箇所別個票参照)
⑥ 効果検証の内容	減災対策	指 標 事業の完成検査 検証方法 渓流延長	4,700m	5,025m	
⑦ 減災対策	指 標 森林危険情報マップ 検証方法 成果品（1年目：商業、2年目：マップ完成）	(1年目)6箇所 (2年目)9箇所	(1年目)6箇所 (2年目)7箇所	□ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	
⑧ 減災対策	指 標 防災教室 検証方法 実施回数	14回	12回		

(2) 事業効果(令和3年度に最終評価予定)

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
⑥ 効果検証の内容	土石流対策	指 標 土石流の発生の抑制 検証方法 事業実施の確率	-	-	
⑦ 効果検証の内容	指 標 流水の発生の抑制 検証方法 対照区との流水発生の比較調査			□ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	
⑧ 効果検証の内容	指 標 林床被覆率の増加 検証方法 対照区との林床被覆率の比較調査				
⑨ 効果検証の内容	指 標 土壌の浸透能の向上 検証方法 対照区との土壌浸透能の比較調査	-	-		
⑩ 効果検証の内容	指 標 表面侵食の抑制 検証方法 対照区との表面侵食量の比較調査				
⑪ 効果検証の内容	指 標 減災意識の向上（対象者の8割） 検証方法 減災対策を行った地域住民へのアンケート	8割	8割以上		

(3) 自己評価(総合) (令和3年度に最終評価予定)

総合評価		理 由
⑦ 自己評価	□ 評価できる □ 概ね評価できる □ あまり評価できない □ 評価できない	

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
---------	---------------------

自然災害から府民の暮らしを守る取組み

(2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業

【目的】

ナラ・カシ類などの広葉樹林の高齢化に伴い病虫害による枯死（ナラ枯れ）や、放置竹林が増加しており、枯損木等による国道府道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。

【事業概要】

- 事業対象区域：山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」
（府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林）
- 事業箇所数：ナラ枯れ対策^(注) 約50箇所
放置竹林対策 約40箇所
- 事業内容：①ナラ枯れ対策
ナラ枯れ等の病虫害被害が予想される高齢木の予防伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等
②放置竹林対策
竹伐採、草刈、竹拡大防止柵の設置、広葉樹の苗木植栽、作業用歩道の整備等
- 事業の工程：初年度～
現地調査、地権者調査（コンサルタント委託）
森林所有者、市町村、地元自治会、道路管理者等との調整
森林所有者と協定書を締結し事業実施
※協定書により、10年間の森林の維持



被害を受け根元に木くずが散乱した木



ナラノガキイムシ

（注）ナラ枯れとは、大量のカシノナガキイムシがナラ・カシ類の幹に穴をあけて入り込み、体に付着した病原菌（ナラ菌）を多量に樹木内に持ち込むことにより、水の通り道が塞がれ、枯れていく病気。枯れる時期は7月から9月が多い。府内においても初めて平成21年度に高槻市、茨木市、島本町で被害が発生し、以後被害は増加しながら南下している。

(単位：千円)

【当初事業計画】

	全体計画		H28		H29		H30		R1～	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費	箇所数	事業費
	90	1,016,000	17	255,000	36	291,000	41	276,000	62	194,000
(新規着手件数)			(17)		(28)		(25)		(20)	

事業対象区域の選定方法

山腹崩壊危険地区

府域全体

691地区
面積
7,900ha国道・府道への倒木や山腹崩壊
等が懸念される森林区域山腹崩壊危険地区に隣接する
国道・府道：285路線

事業実施

森林病虫害の拡大
放置竹林の拡大

(高槻市)

※R1までに着手

実施箇所

■事業対象区域

- 府県間を連絡する交通量の多い国道・府道に限定
対象：20路線

自然災害から府民の暮らしを守る 主要道路沿いにおける倒木対策

ナラ枯れの状況



(交野市)



被害を受け木くずが根元に散乱した木

放置竹林の状況

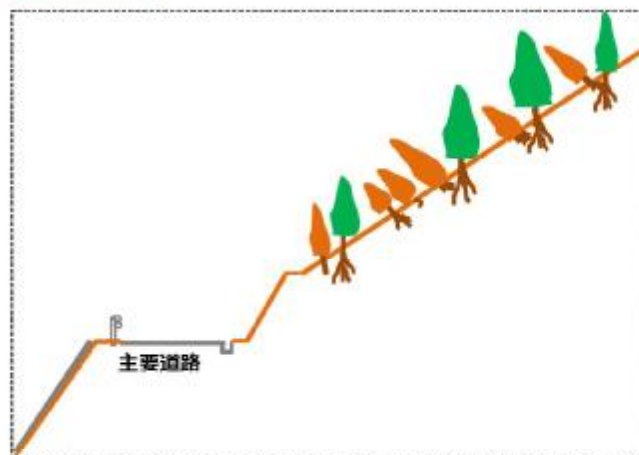


(茨木市)



放置竹林の拡大により侵入を受ける森林

整備前



整備後



整備内容

【ナラ枯れ】

- ・被害を受けやすい高齢木の予防伐採
- ・被害を受け倒木のおそれのある枯死木の処理
- ・広葉樹の大苗木植栽等

【放置竹林】

- ・竹の拡大防止のため森林に侵入した竹の伐採
- ・広葉樹の大苗木植栽等
- ※竹の侵入による樹木枯死の未然防止

整備後の将来イメージ



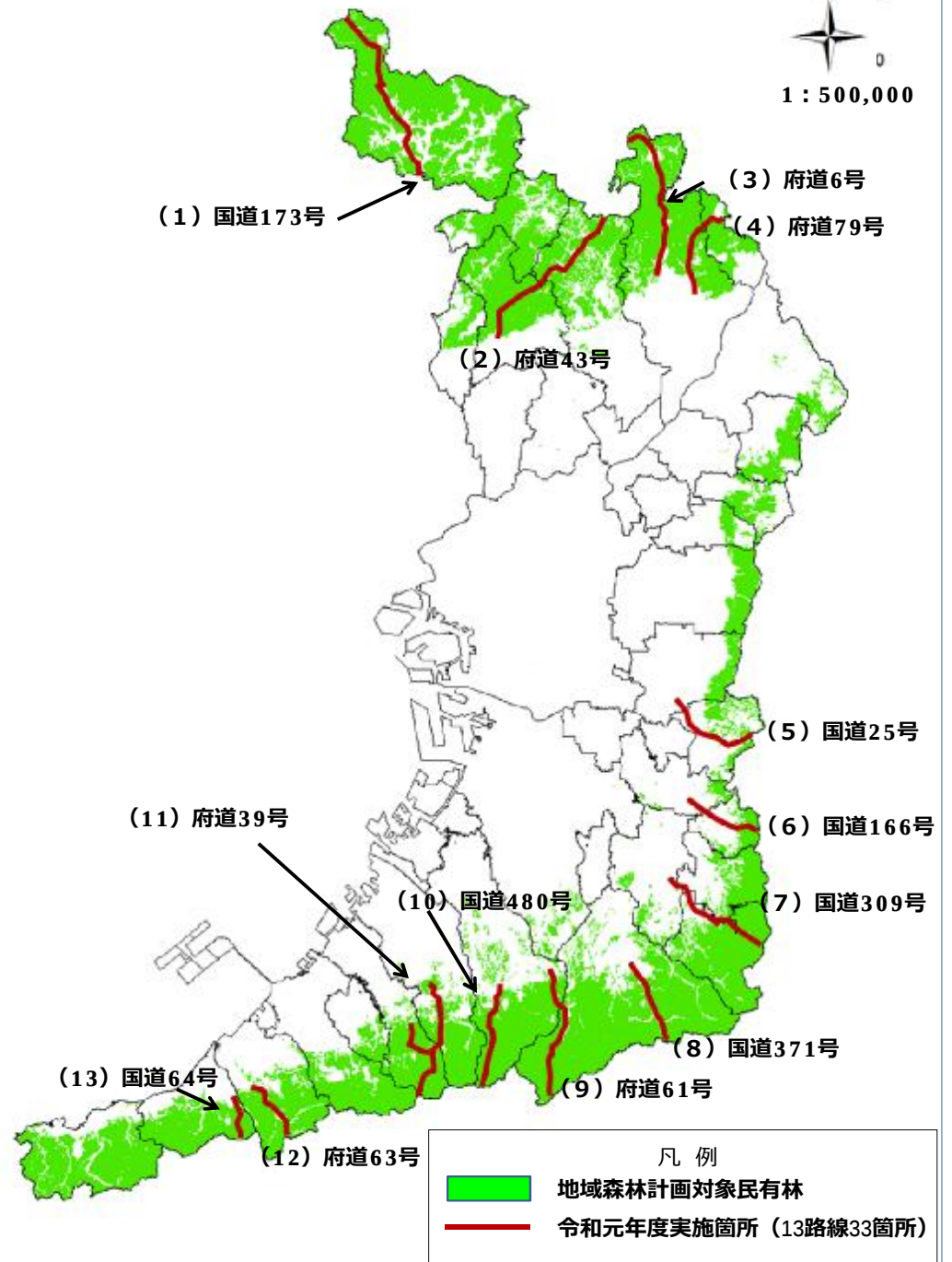
(高槻市)

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

【(2)主要道路沿いにおける倒木対策事業】

路線名	地区名	区分	令和元年度事業			
			計画		実績	
			箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
(1) 国道173号	能勢町天王	ナラ枯等	1(1)	2.0	1(1)	2.0
	能勢町山辺	ナラ枯等	1(1)	3.2	1(1)	3.2
(2) 府道43号	箕面市箕面	ナラ枯等	1	4.6	1	14.8
		風倒被害	1	6.4	1	6.4
(3) 府道6号	高槻市出灰	風倒被害	1	8.0	1	8.0
(4) 府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	2(2)	3.2	2(2)	3.2
	高槻市川久保	放置竹林	1(1)	0.1	1(1)	0.1
(5) 国道25号	柏原市本堂	ナラ枯等	1	0.6	1	2.0
(6) 国道166号	太子町山田	放置竹林	2(2)	0.2	2(2)	0.2
(7) 国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	2(1)	0.3	2(1)	0.2
(8) 国道371号	河内長野市清水・天見	ナラ枯等	2	1.0	3	0.2
		放置竹林	4(2)	0.4	4(1)	0.4
(9) 府道61号	河内長野市滝畑	ナラ枯等	1	0.1	1	0.1
		放置竹林	2(2)	0.6	2(2)	0.5
(10) 国道480号	和泉市父鬼町	ナラ枯等	3	1.5	6	0.5
	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.2	1(1)	0.2
(11) 府道39号	岸和田市相川町	ナラ枯等	1	1.4	1	0.9
(12) 府道63号	泉南市金熊寺	ナラ枯等	1	0.6	1	0.5
(13) 府道64号	阪南市山中溪	ナラ枯等	1	0.2	1	0.1
計画 13路線 実績 13路線		ナラ枯等	15(4)	18.4	19(4)	27.5
		放置竹林	12(9)	1.8	12(8)	1.6
		風倒被害	2	14.4	2	14.4
		合計	29(13)	34.6	33(12)	43.5

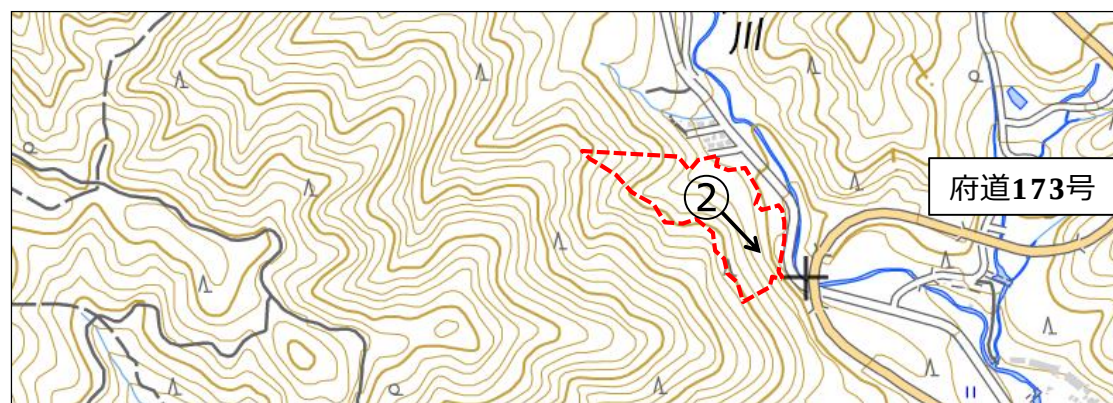
() は過年度からの継続箇所の内数



令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(1) 国道173号（能勢町天王・山辺地区）

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等 (天王地区)	1箇所 (うち継続 1) 2.0 ha	1箇所 (うち継続 1) 2.0 ha	
ナラ枯等 (山辺地区)	1箇所 (うち継続 1) 3.2 ha	1箇所 (うち継続 1) 3.2 ha	

【施行後①】 下刈り



【施行後②】 下刈り



令和元年度主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(2) 府道43号 (箕面市箕面地区)

【平面図】



【施工後 (ナラ枯等) ①】



【施工後 (風倒被害) ②】



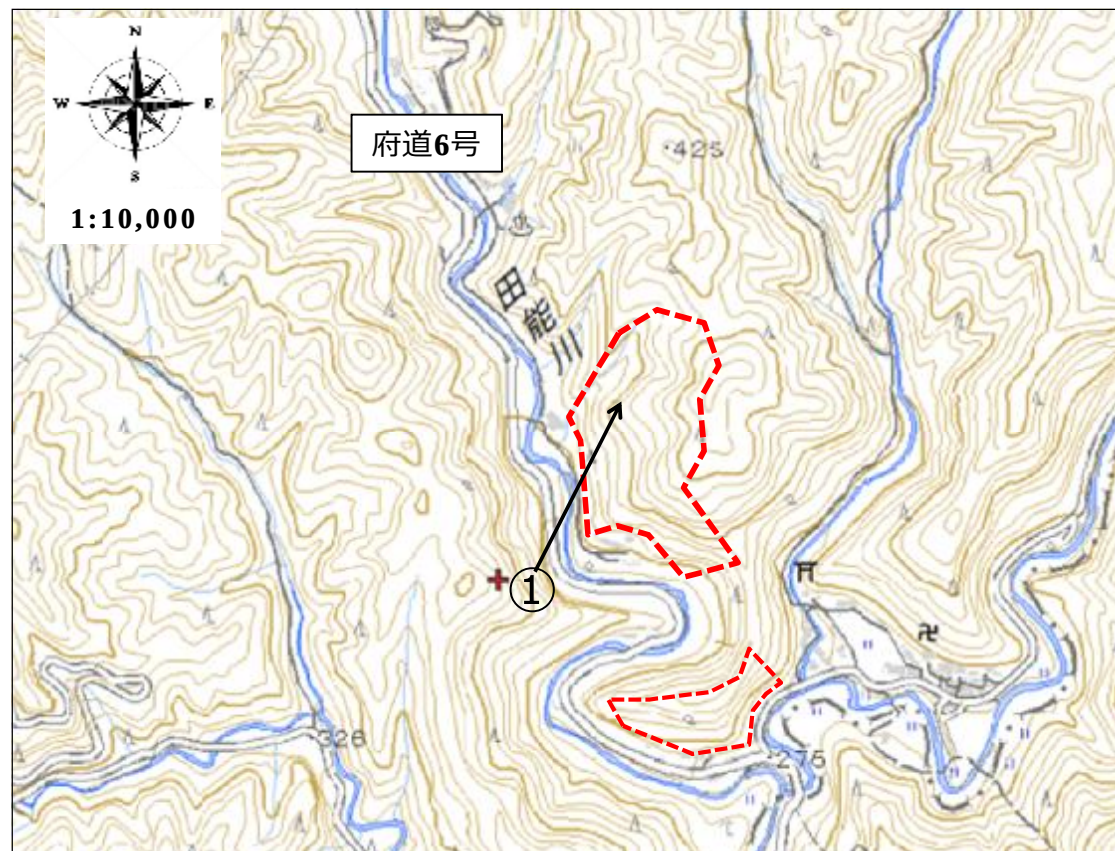
内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 4.6ha(14.8ha)	1箇所 14.8ha	H30年度に実施予定であったナラ枯等事業地が、H30年台風21号の影響により実施できなかったため、令和元年度に風倒被害の整備と合わせて実施したことから、面積が増加。
風倒被害	1箇所 6.4ha	1箇所 6.4ha	

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

いずりは

(3) 府道6号 (高槻市出灰地区)

【平面図】



【凡例】  事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
風倒被害	1箇所 8.0ha	1箇所 8.0ha	H30年台風21号で発生した風倒被害地の復旧を実施。R2年度で残りの風倒被害地(5.8ha)の復旧を実施予定。

【施工前】



【施工後】



令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(4) 府道79号（島本町大沢・川久保地区）

【平面図】



【凡例】 事業地 ①→写真撮影位置

【施行後①】 下刈り



【施行後②】 下刈り

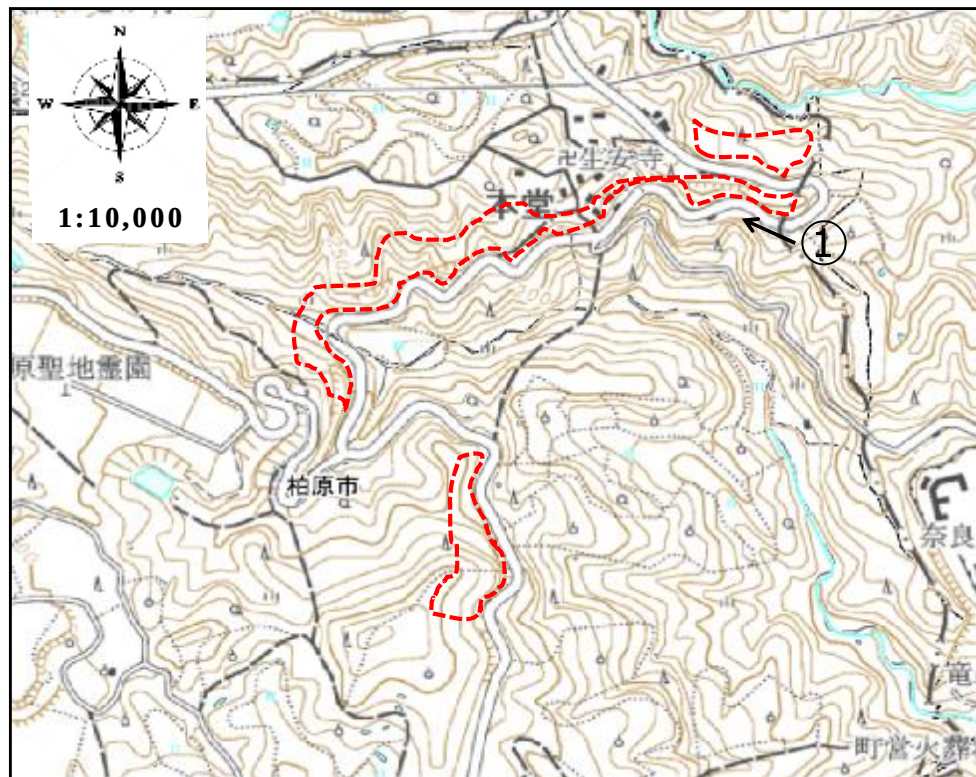


内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等 (大沢地区)	2箇所 (うち継続2) 3.2 ha	2箇所 (うち継続2) 3.2 ha	
放置竹林 (川久保地区)	1箇所 (うち継続1) 0.1 ha	1箇所 (うち継続1) 0.1 ha	

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(5) 国道25号 (柏原市本堂地区)

【平面図】



【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 0.6ha	1箇所 2.0ha	現地再精査の結果、予定地付近で新たに危険木が確認されたため対策が必要な箇所と面積が増加。

【施行前】



撮影日：H31.9.4

【施行後】



撮影日：R2.3.6

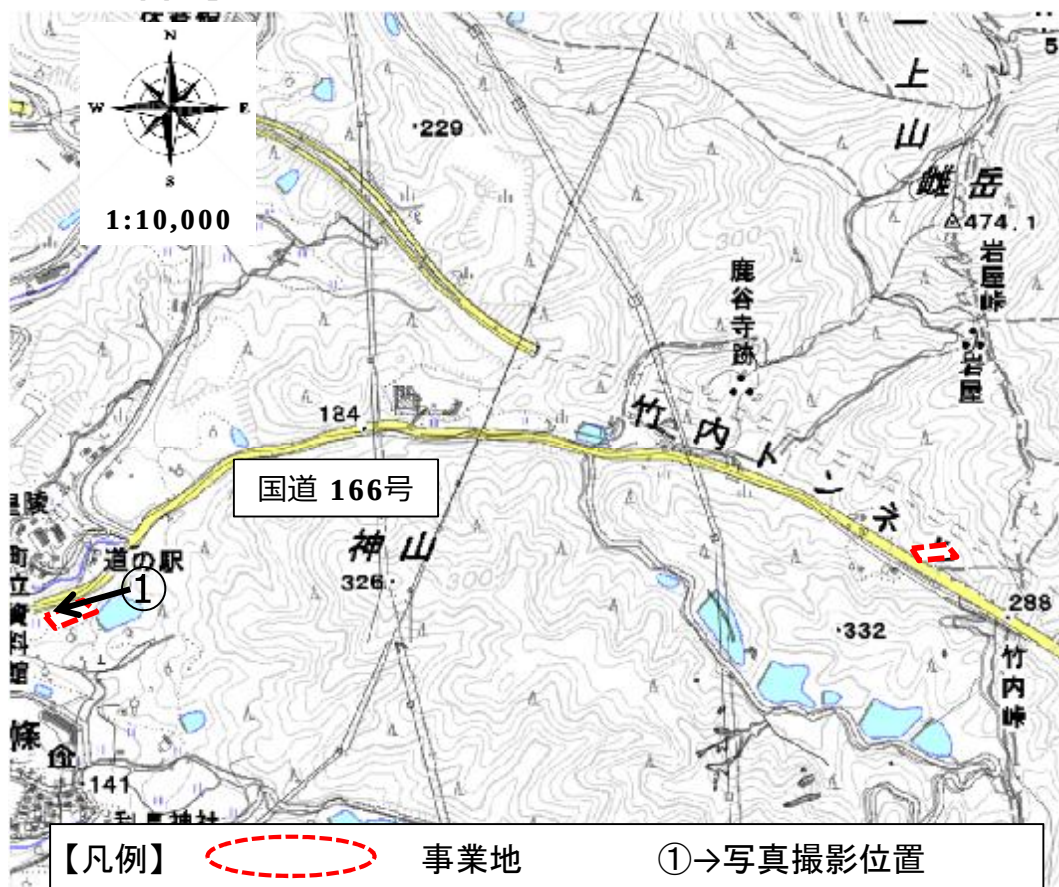
令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

やまだ

(6) 国道166号 (太子町山田地区)

【平面図】

【施行前】下刈り



【施行後】下刈り



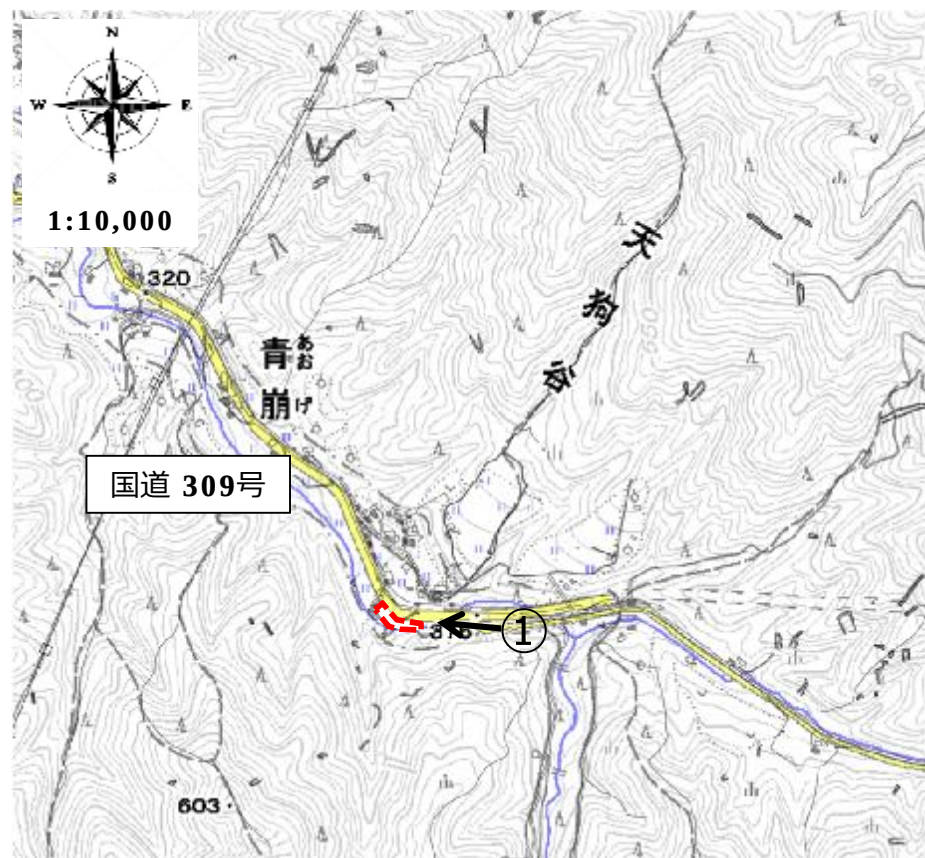
内容	R1計画	R1実績	備考
放置竹林	2箇所 (うち継続2) 0.2ha	2箇所 (うち継続2) 0.2ha	

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

すいぶん

(7) 国道309号 (千早赤阪村水分地区)

【平面図】



【施行前】



撮影日：R2.1.30

【施行後】



撮影日：R2.3.17

【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
放置竹林	2箇所 (うち継続1) 0.3ha	2箇所 (うち継続1) 0.2ha	

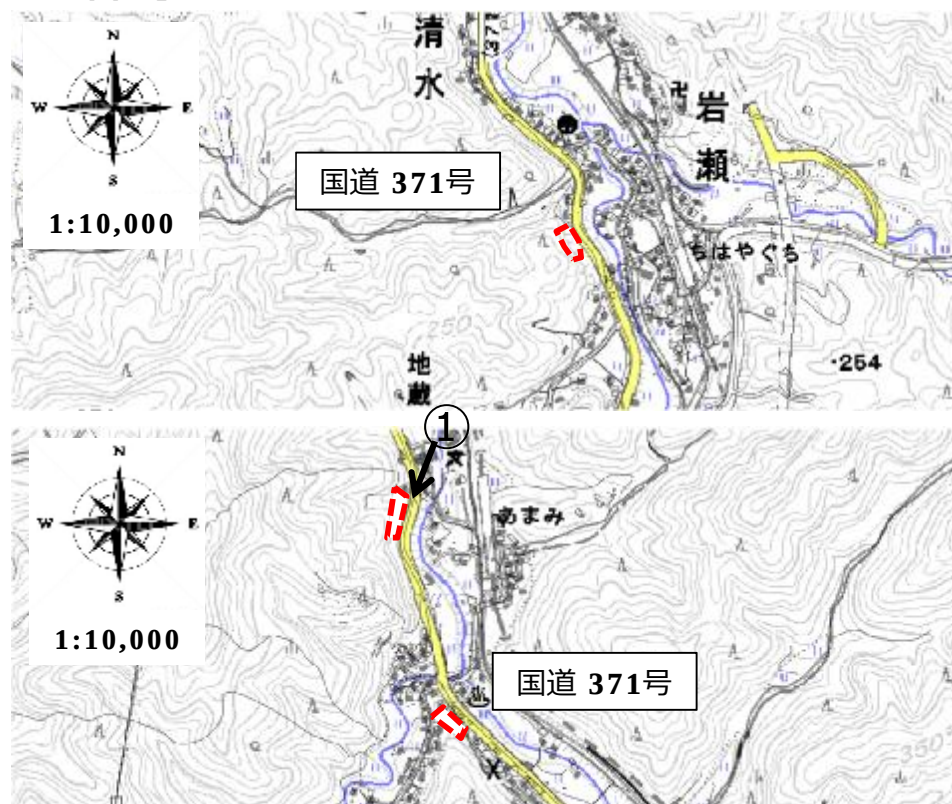
令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

しみず

あまみ

(8) 国道371号 (河内長野市清水・天見地区)

【平面図】



【施行前】



撮影日：R1.10.23

【施行後】



撮影日：R2.3.26

【凡例】  事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

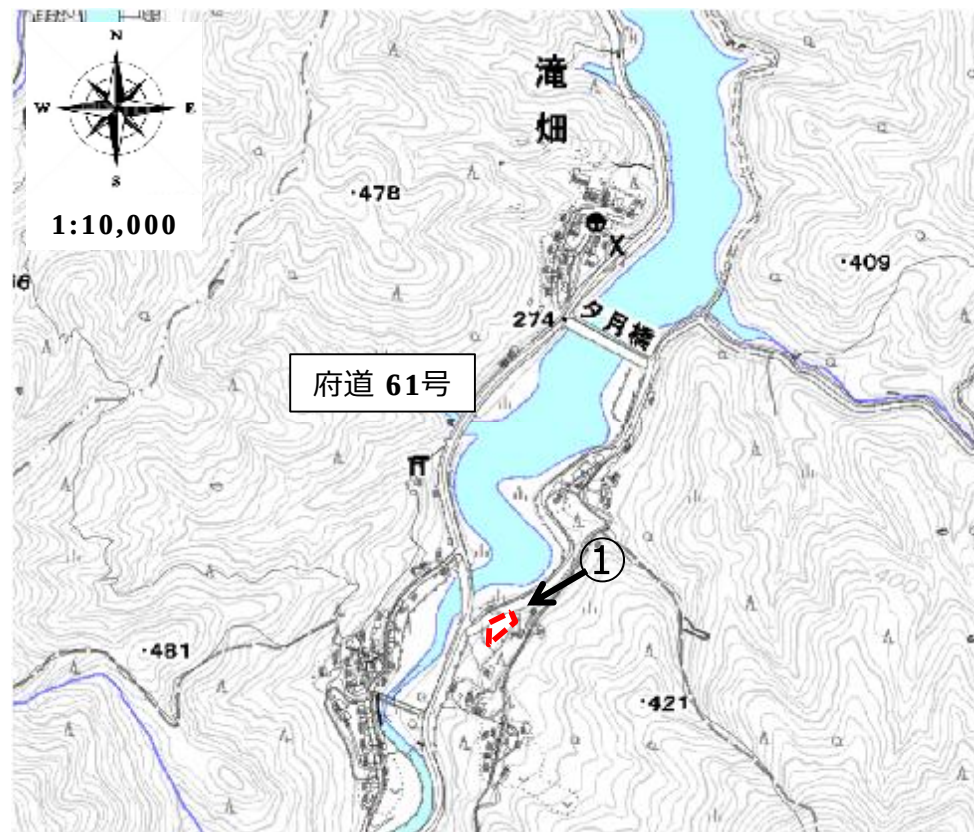
内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等 (清水・天見地区)	2箇所 1.0ha	3箇所 0.2ha	放置竹林 新規：2→3箇所(0.3ha) 継続：2→1箇所(0.1ha)
放置竹林 (清水・天見地区)	4箇所(うち継続2) 0.4ha	4箇所(うち継続1) 0.4ha	ナラ枯等について、現地再精査により、1箇所増えたものの、対策が必要な面積は減少。 放置竹林について、現地再精査の結果、過年度植栽地(0.1ha)において下刈りは不要と判断したため、箇所数及び面積が減少。

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

たきはた

(9) 府道61号 (河内長野市滝畑地区)

【平面図】



【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 0.1ha	1箇所 0.1ha	放置竹林について、過年度植栽地の一部において下刈を地元管理に移行したため、面積が減少
放置竹林	2箇所 (うち継続2) 0.6ha	2箇所 (うち継続2) 0.5ha	

【施行前】



【施行後】



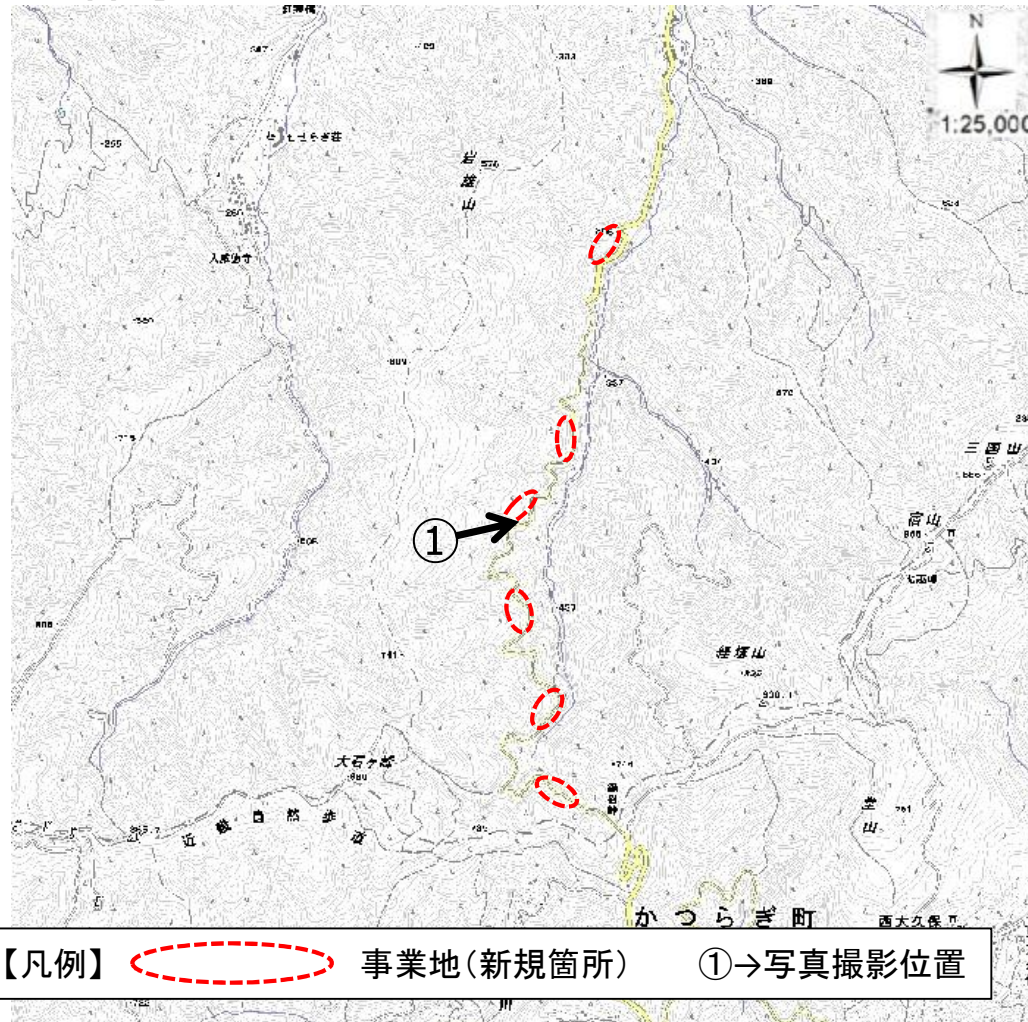
令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(10) 国道480号（和泉市父鬼町地区・春木川町地区）

ちちおにちょう

はるきがわちょう

【平面図】



【施行前】



【施行後】

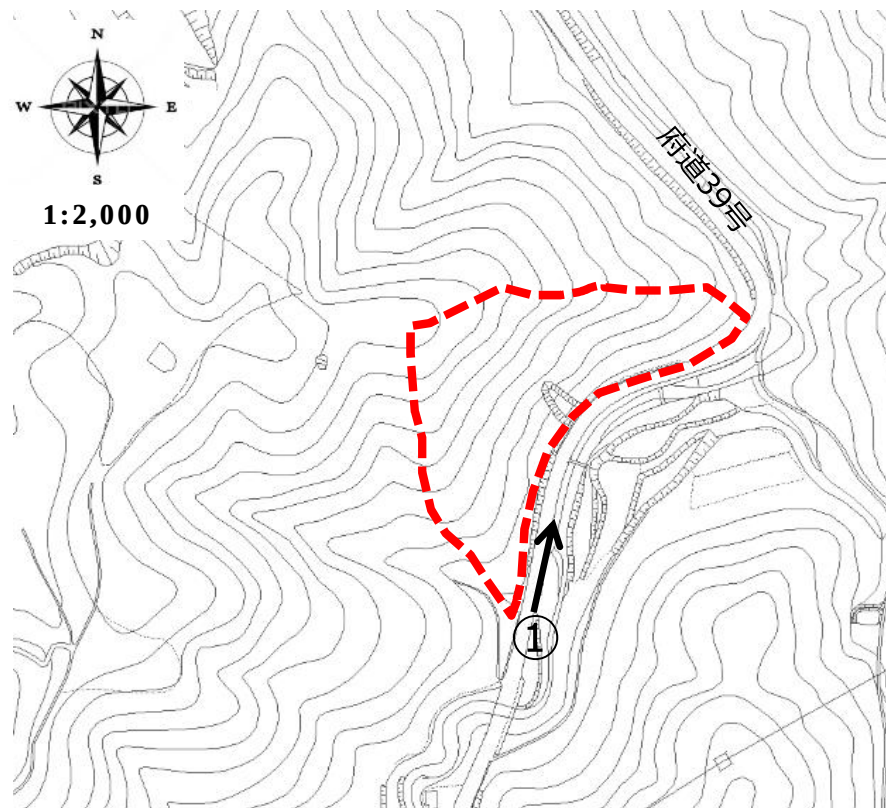


内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等 (父鬼町地区)	3箇所 1.5ha	6箇所 0.5ha	ナラ枯等について、現地再精査により、3箇所増えたものの、対策が必要な面積は減少。
放置竹林 (春木川町地区)	1箇所 (うち継続1) 0.2ha	1箇所 (うち継続1) 0.2ha	

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

(11) 府道39号 (岸和田市相川町地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】  事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

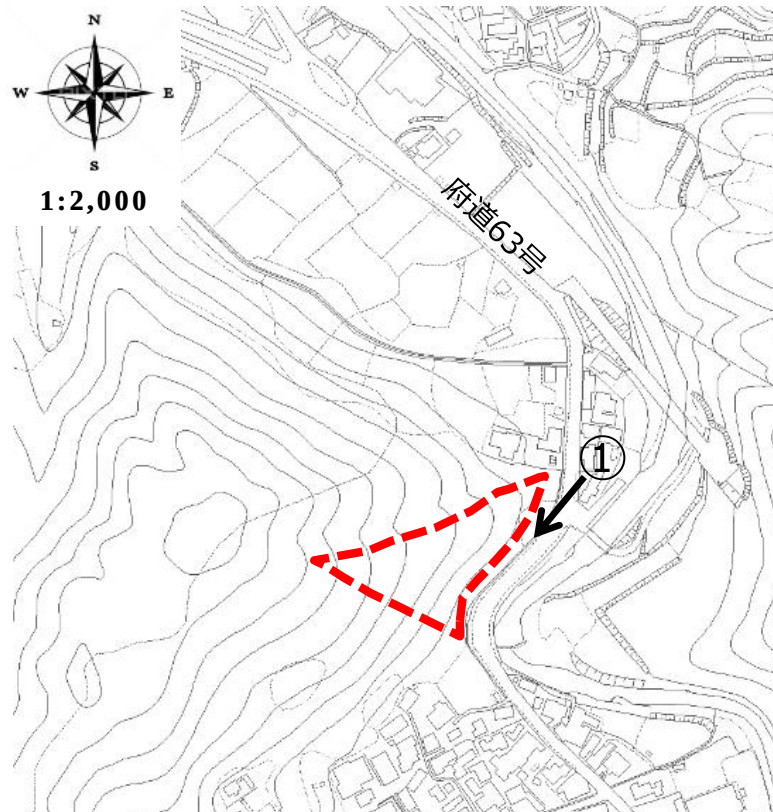
内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 1.4ha	1箇所 0.9ha	

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

（12）府道63号（泉南市金熊寺地区）

きんゆうじ

【平面図】



【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 0.6ha	1箇所 0.5ha	

【施行前】



撮影日：R1.5.8

【施行後】



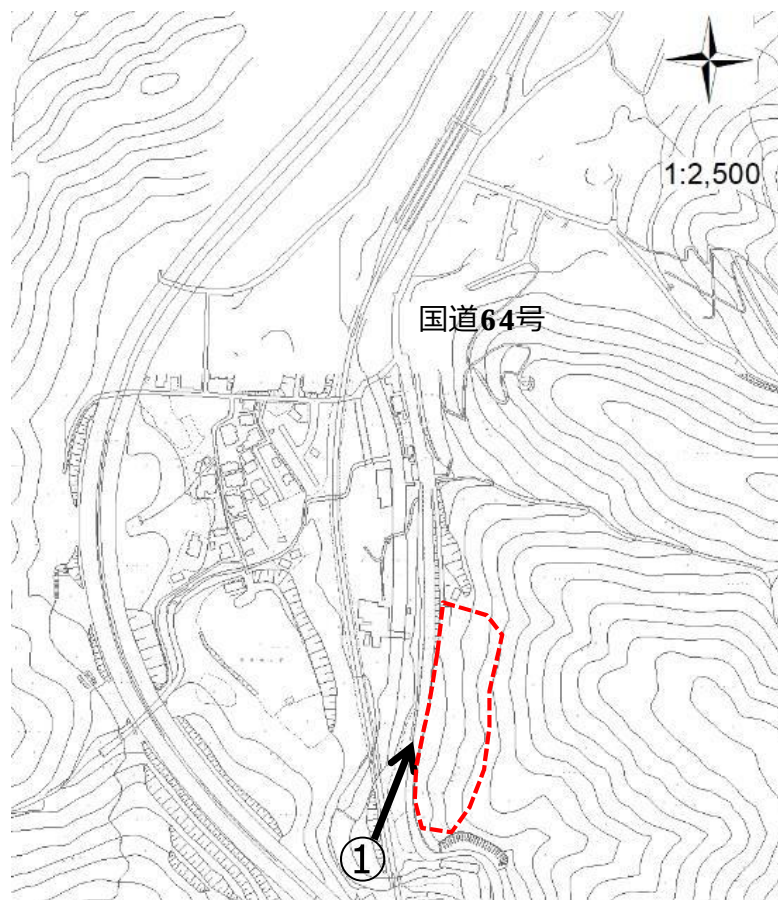
撮影日：R2.4.8

令和元年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業実績

やまなかだに

(13) 府道64号 (阪南市山中溪地区)

【平面図】



【施行前】



【施行後】



【凡例】 事業地(新規箇所) ①→写真撮影位置

内容	R1計画	R1実績	備考
ナラ枯等	1箇所 0.2ha	1箇所 0.1ha	

令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名 みどり推進室森づくり課

担当グループ名 森林整備グループ

連絡先 (06) 6210-9559

1 事業概要

①概要等	事業実施年度	令和元年度		
	評価年月日	令和2年9月23日		
	施策区分	自然災害から府民の暮らしを守る取組み		
	事業名	主要道路沿いにおける倒木対策事業		
	事業概要	ナラ枯等、放置竹林対策		
	事業開始年度	平成28年度		
②事業の目的	ナラ・カン類などの広葉樹林の高齢化に伴い、病害虫による枯死(ナラ枯れ)や放置竹林が増加しており、枯損木等による国道府道等への倒木・倒伏被害を未然に防止する。			

③事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1	R2	合計
	当初計画	255,000	291,000	276,000	194,000		1,016,000
	現計画	202,713	217,489	219,343	279,469	124,643	1,043,657
	執行額	202,713	217,489	219,343	279,469		—

④事業の内容	・事業対象区域:山地災害危険地区「山腹崩壊危険地区」 (府県間等を結ぶ主要国道・府道20路線沿いの山崩れの危険がある森林) ・事業箇所数:ナラ枯等対策 約50箇所 放置竹林対策約40箇所 事業内容:①ナラ枯等対策 ナラ枯等の病虫害被害が予想される高齢木の予防伐採、被害木の処理、落石対策、作業用歩道の整備等 ②放置竹林対策 竹伐採、草刈、竹垣大防止柵の設置、広葉樹の苗木植栽、作業用歩道の整備等						
--------	--	--	--	--	--	--	--

2 自己評価

(1) 事業実績

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
⑤ 実績 検証の内容	指標 実施路線数				
	検証方法 事業の完成検査	13路線	13路線		
	指標 ナラ枯等対策実施面積				
	検証方法 事業の完成検査	18.4ha	27.5ha	■ 妥当である	実施路線数について、計画通りであった。ナラ枯等対策については、台風21号の影響により平成30年度実施予定であった箇所を令和元年度に実施したため当初計画よりも面積が10.2ha増加した。他の箇所については、施工範囲の精査により面積が増減したが、概ね予定通り実施することができた。
	指標 放置竹林対策実施面積			□ 概ね妥当である	放置竹林対策については、伐採後の下刈りを地元管理に移行したことなどから面積が減少した。他の箇所については、風倒被害対策については、計画通りに実施した。全体としては概ね計画通りに実施した。
検証の内容	検証方法 事業の完成検査	1.8ha	1.6ha	□ あまり妥当でない	
	指標 風倒被害対策実施面積			□ 妥当でない	
	検証方法 事業の完成検査	14.4ha	14.4ha		(※詳細については箇所別個票参照)

(2) 事業効果(令和3年度に最終評価予定)

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由
⑥ 効果 検証の内容	指標 通行障害の発生抑制			□ 妥当である	
	検証方法 事業実施後の通行障害発生の有無		-	□ 概ね妥当である	
	検証方法 現地道勘調査による危険木等の発生確認			□ あまり妥当でない	
(3) 自己評価(総合)(令和3年度に最終評価予定)				□ 妥当でない	

総合評価		理由
⑦ 自己評価	☐ 評価できる ☐ 概ね評価できる ☐ あまり評価できない ☐ 評価できない	

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見
---------	---------------------

令和2年度 主要道路沿いにおける倒木対策事業の実施について

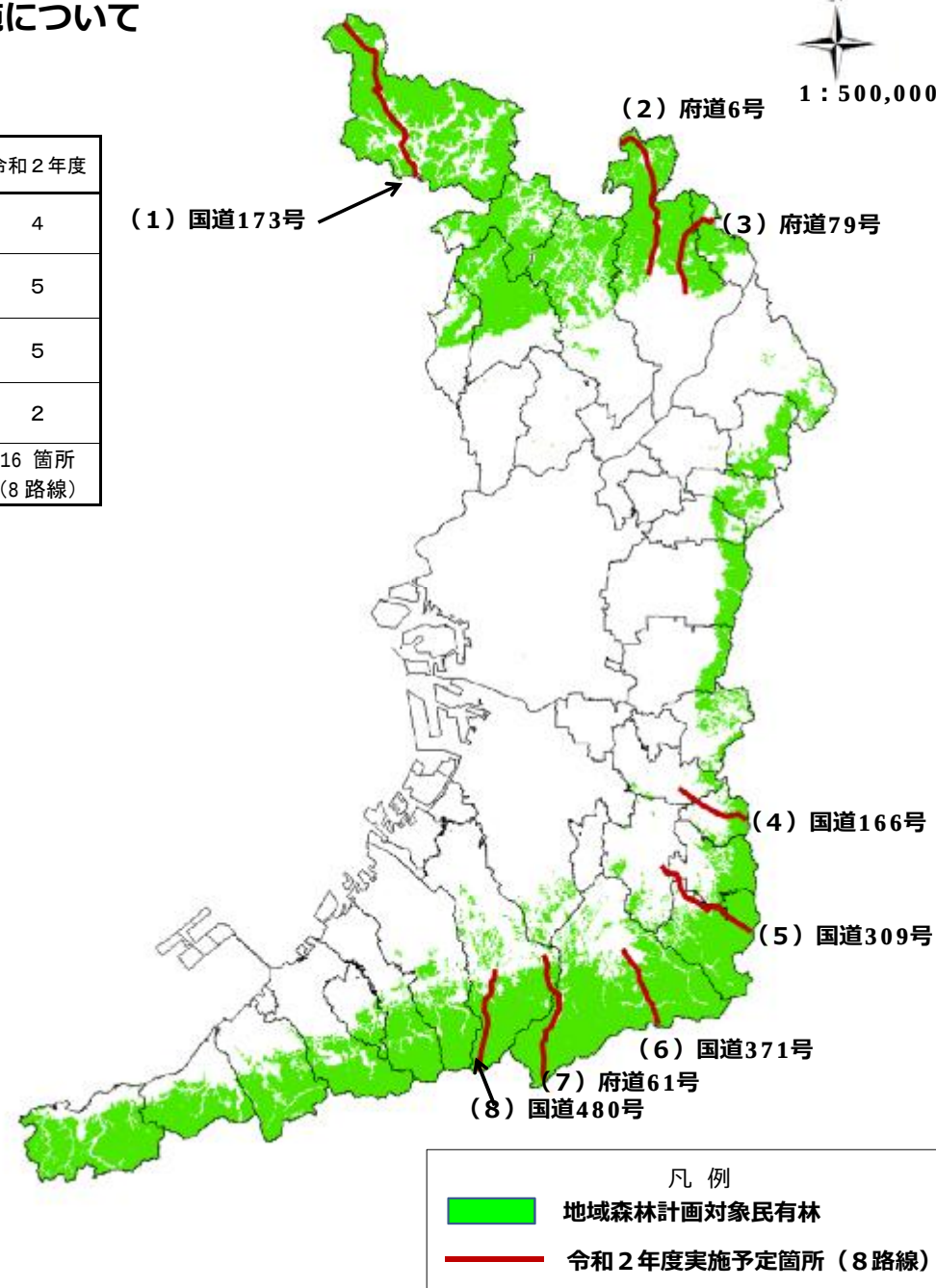
【平成28～令和元年度実績・令和2年度計画】

	新規 着手	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
平成28年度 着手	18箇所 (11路線)	18	4	4	4	4
平成29年度 着手	24箇所 (2路線)		24	7	6	5
平成30年度 着手	17箇所 (4路線)			17	3	5
令和元年度 着手	16箇所 (3路線)				16	2
合 計	74箇所 (20路線)	18箇所 (11路線)	28箇所 (13路線)	28箇所 (14路線)	29箇所 (13路線)	16箇所 (8路線)

【令和2年度の計画数量】

路線名	地区名	区分	令和2年度事業	
			計画	
			箇所数	面積(ha)
(1)国道173号	能勢町天王	ナラ枯等	2(2)	3.2
	能勢町山辺	ナラ枯等	2(2)	5.4
(2)府道6号	高槻市出灰	風倒被害	1(1)	5.8
(3)府道79号	島本町大沢	ナラ枯等	2(2)	3.2
		放置竹林	1(1)	0.5
	高槻市川久保	放置竹林	1(1)	0.1
(4)国道166号	太子町山田	放置竹林	2(2)	0.2
(5)国道309号	千早赤阪村水分	放置竹林	1(1)	0.2
(6)国道371号	河内長野市清水・天見	放置竹林	1(1)	0.2
(7)府道61号	河内長野市滝畑	放置竹林	2(2)	0.4
(8)国道480号	和泉市春木川町	放置竹林	1(1)	0.2
計 8路線		ナラ枯等	6(6)	11.8
		放置竹林	9(9)	1.8
		風倒被害	1(1)	5.8
		合計	16(16)	19.4

()は過年度からの継続箇所の内数



(3) 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）

【目的】
所有形態が小規模・分散化した森林をまとめた団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。

【事業概要】
基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成

○事業箇所数：34地区（9市町村・4,800ha）（当初）
32地区（9市町村・4,600ha）（H30.11審議会で出灰流谷地区、R2.2審議会で二料地区事業廃止後）

○事業主体：森林所有者から森林施業を委託された林業事業体

○補助率：定額（府が工種ごとに定める補助単価に基づき算出）

○補助要件（対象森林）：
①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づく森林経営計画が作成され、計画的な間伐や木材搬出が見込まれること
②森林所有者や林業事業体が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること
※府・事業主体・森林所有者の3者で、20年間の協定を締結

【実績】

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
平成28年度新規着手（10地区）	10地区	9地区	7地区	5地区
平成29年度新規着手（9地区）		9地区	8地区	7地区
平成30年度新規着手（11地区）			11地区	10地区
令和元年度新規着手（2地区）				2地区
計（32地区）	10地区	18地区	26地区	24地区

【当初事業計画】

単位：面積（ha） 材積（m³） 事業費（千円）

	全体計画				H28			H29			H30			R1		
	地区数	区域面積	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費	地区数	搬出材積	事業費
	34	4,806	29,713	1,080,800	10	4,533	321,000	18	7,209	205,800	28	7,878	241,800	22	10,093	312,200
（新規着手地区数）	-				(10)			(9)			(12)			(3)		

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

■実績の概要

	R元計画	R元実績	備考
地 区 数	24地区	24地区	
作業道整備	15, 267m	16,128m	計画どおり実施
土場整備	25箇所	25箇所	計画どおり実施

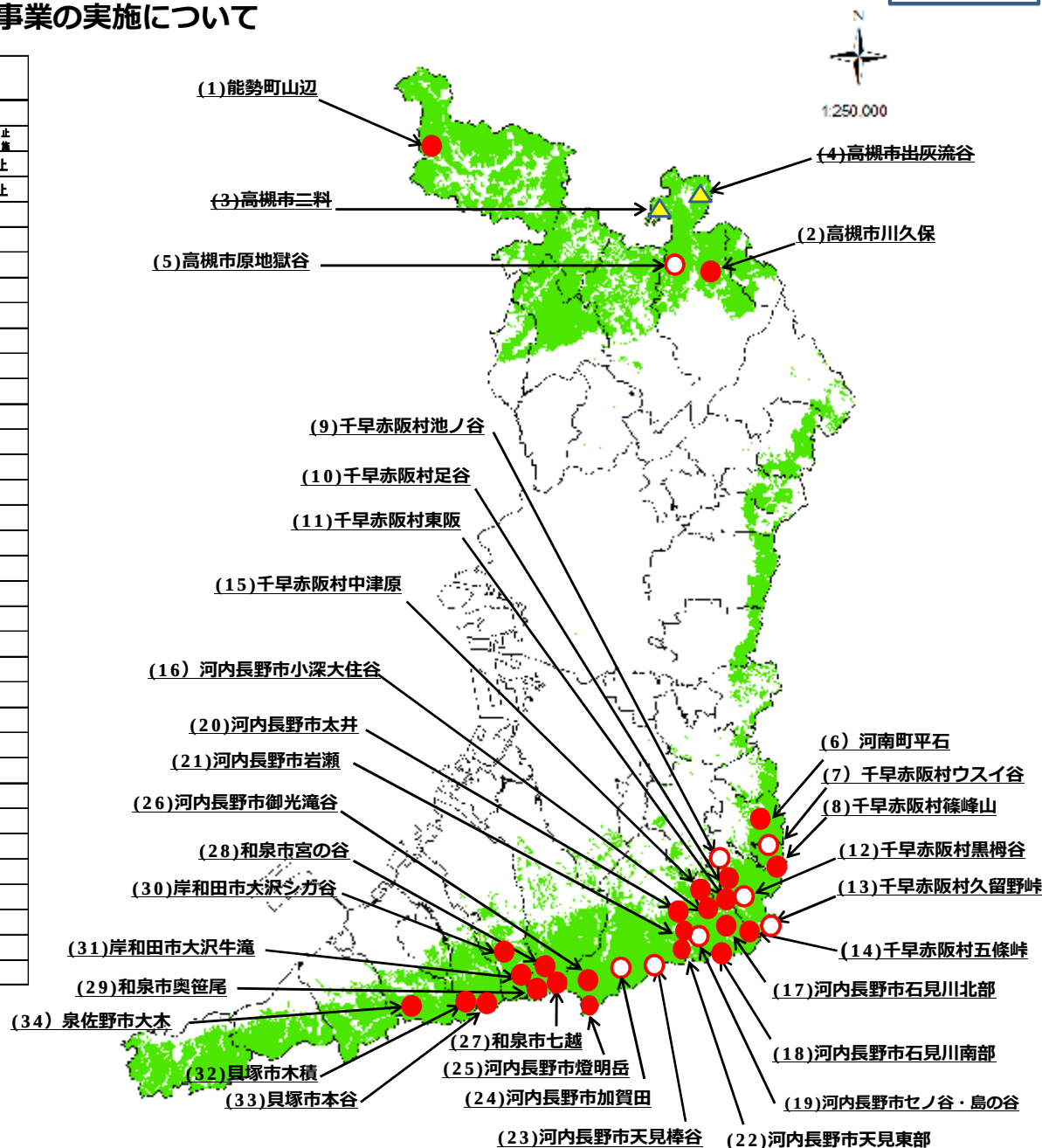
※H30.11審議会において川久保地区H31に事業実施延期、出灰流谷地区事業廃止

※R2.2 審議会において二料地区事業廃止

令和元年度 持続的な森づくり（基盤づくり）事業の実施について

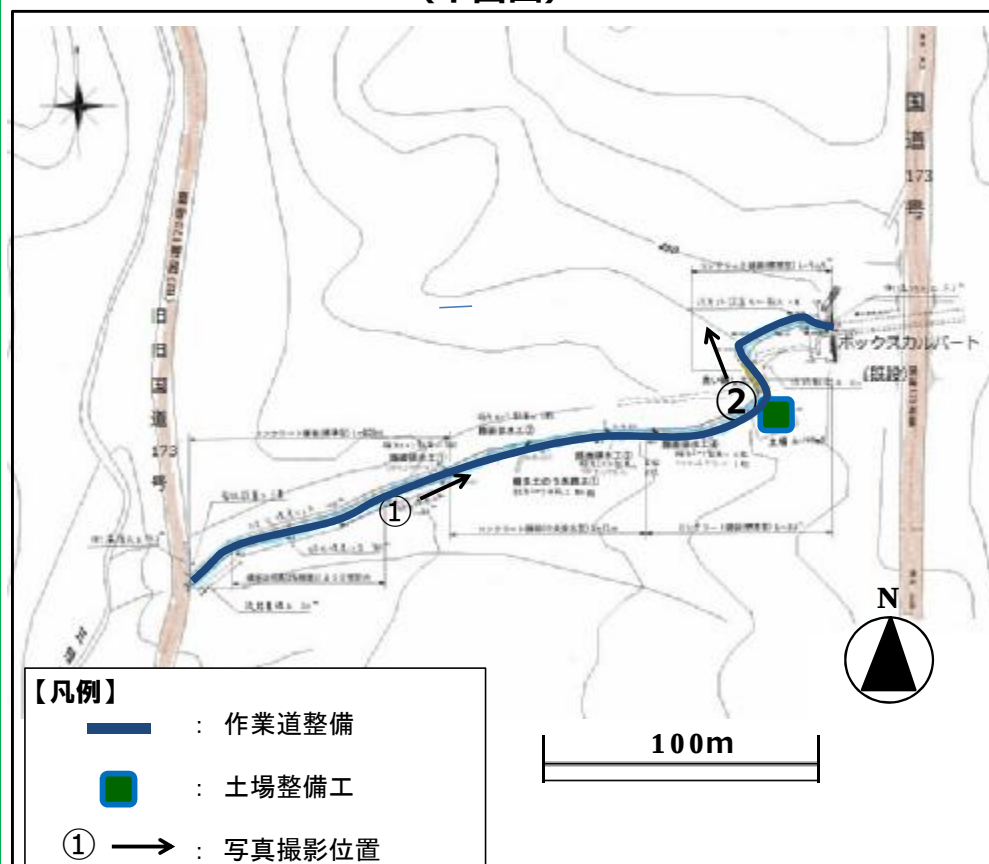
番号	市町村	地区名	実施年度				備考
			H28	H29	H30	R1	
1	能勢町	山辺					
2	高槻市	川久保					H30年度休止 H31年度実施
3		二料					事業廃止
4		出灰流谷					事業廃止
5		原地獄谷					
6	河南町	平石					
7	千早赤阪村	水分ウスイ谷					
8		水分篠峰山					
9		水分池の谷					
10		水分足谷					
11		東阪					
12		千早黒桐谷					
13		千早久留野峠					
14		千早五篠峠					
15		中津原					
16		河内長野市	小深・大住谷				
17	石見川北部						
18	石見川南部						
19	セノ谷・島の谷						
20	太井・鳩の原・神ヶ丘						
21	岩瀬						
22	天見東部						
23	天見・棒谷						
24	加賀田						
25	滝畑・燈明岳						
26		滝畑・御光滝谷					
27	和泉市	父鬼七越					
28		父鬼宮の谷・大岩					
29		父鬼奥笹尾					
30	岸和田市	大沢カ 谷					
31		大沢牛滝					
32	貝塚市	木積					
33		本谷					
34	泉佐野市	大木					
合 計		32 (34) 地区	10	18	26	24	

- 令和元年度 施工地区（24地区）
- 平成28～30年度 施工済地区（8地区）
- ▲ 事業廃止



令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】（1）能勢町山辺地区^{やまへ}
 【事業者】大阪府森林組合豊能支店
 （平面図）



	R1計画	R1実績	備考
基幹作業道の舗装	280m	282m	計画どおり実施
土場の整備	1箇所	1箇所	計画どおり実施

（施工前）

①路面工



R1.7.25

（施工後）



R1.9.27

②路面工



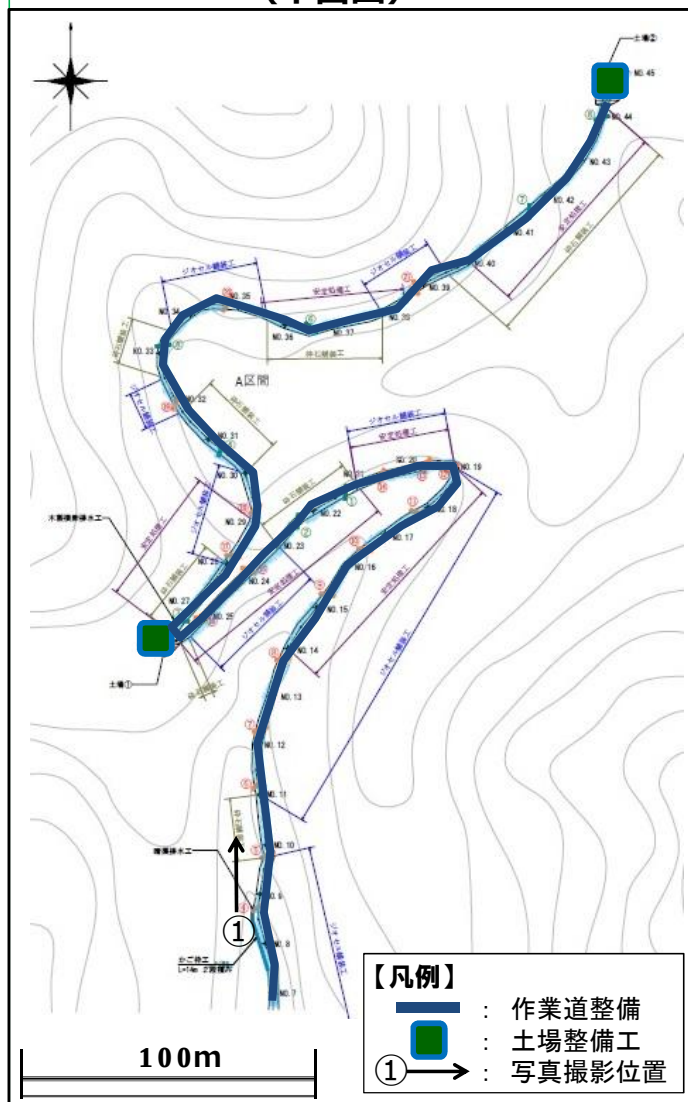
R1.7.23



R1.9.27

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】（2）高槻市川久保地区
 【事業者】大阪府森林組合三島支店
 （平面図）



（施工前）H30台風21号被災跡



R1. 6.14

（施工中）支障木の除去



R1.7.25

①路面工

（施工後）



R2.3.13

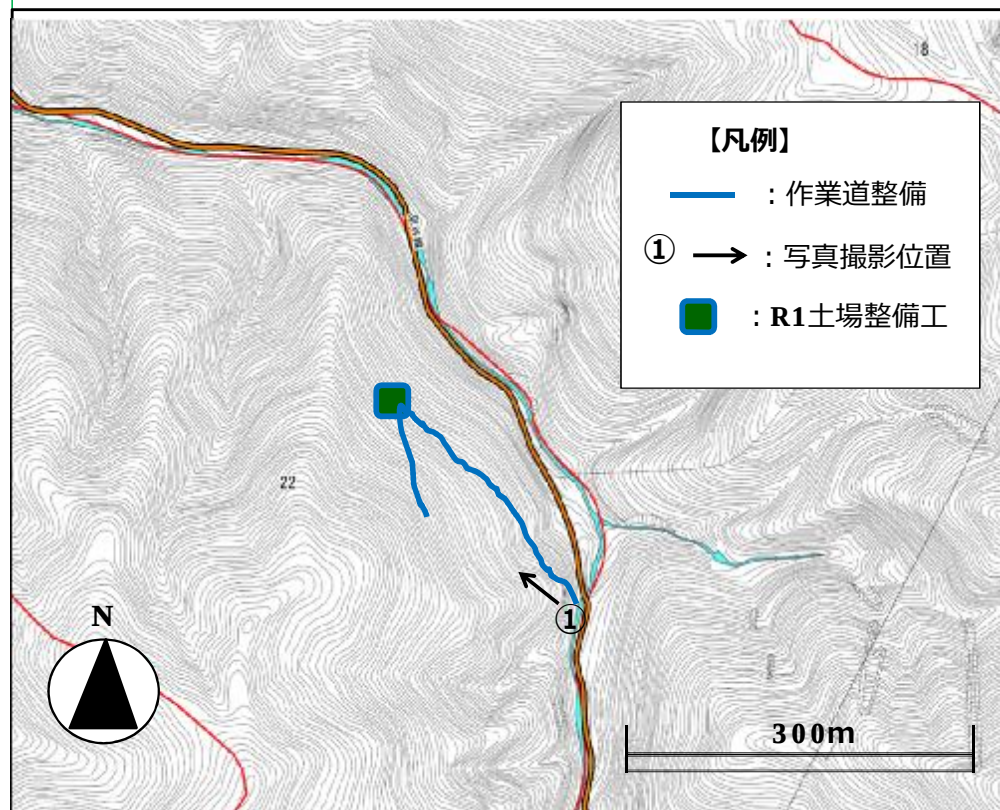
	R1計画	R1実績	備考
基幹作業道の舗装	1,850m	1,871m	計画どおり実施
土場の整備	2箇所	2箇所	計画どおり実施

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】(10) 千早赤阪村水分足谷地区
すいぶんあしだに

【事業者】大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



	R1計画	R1実績	備考
作業道	400m	376m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

①路面工

(施工前)



R1.10.28

(施工後)

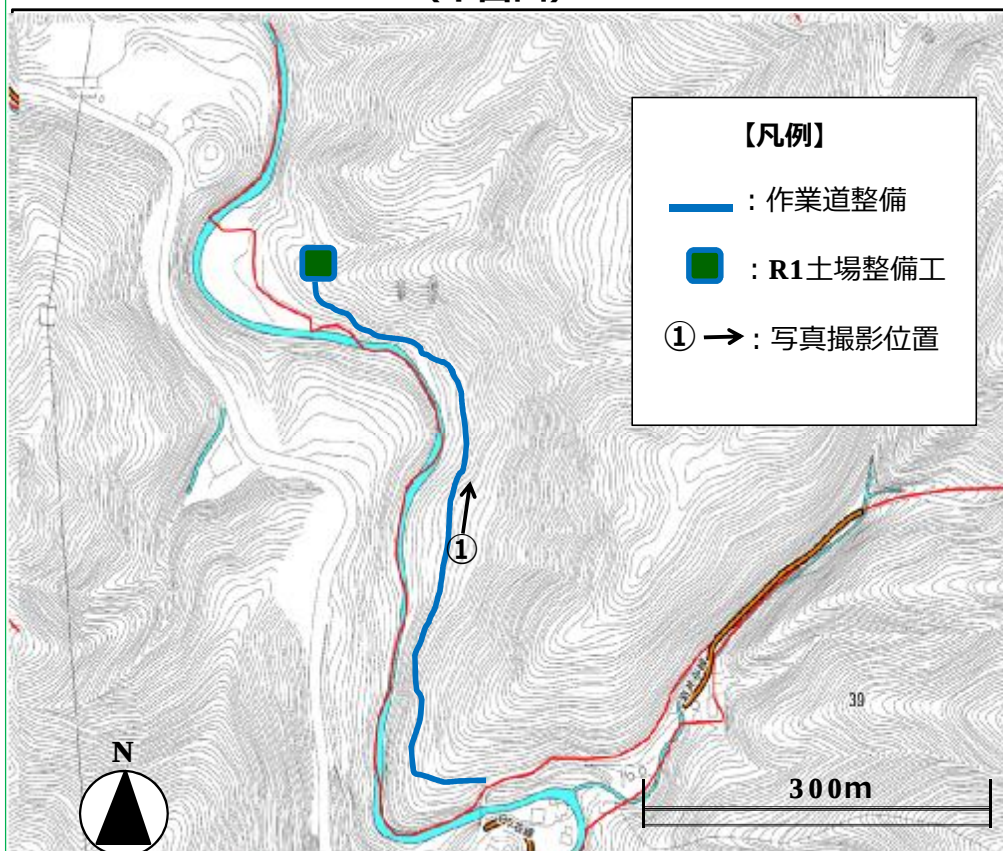


R1.12.3

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】 (11)千早赤阪村東阪地区
【事業者】 大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



	R1計画	R1実績	備考
作業道	420m	434m	計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

①路面工
(施工前)



(施工後)

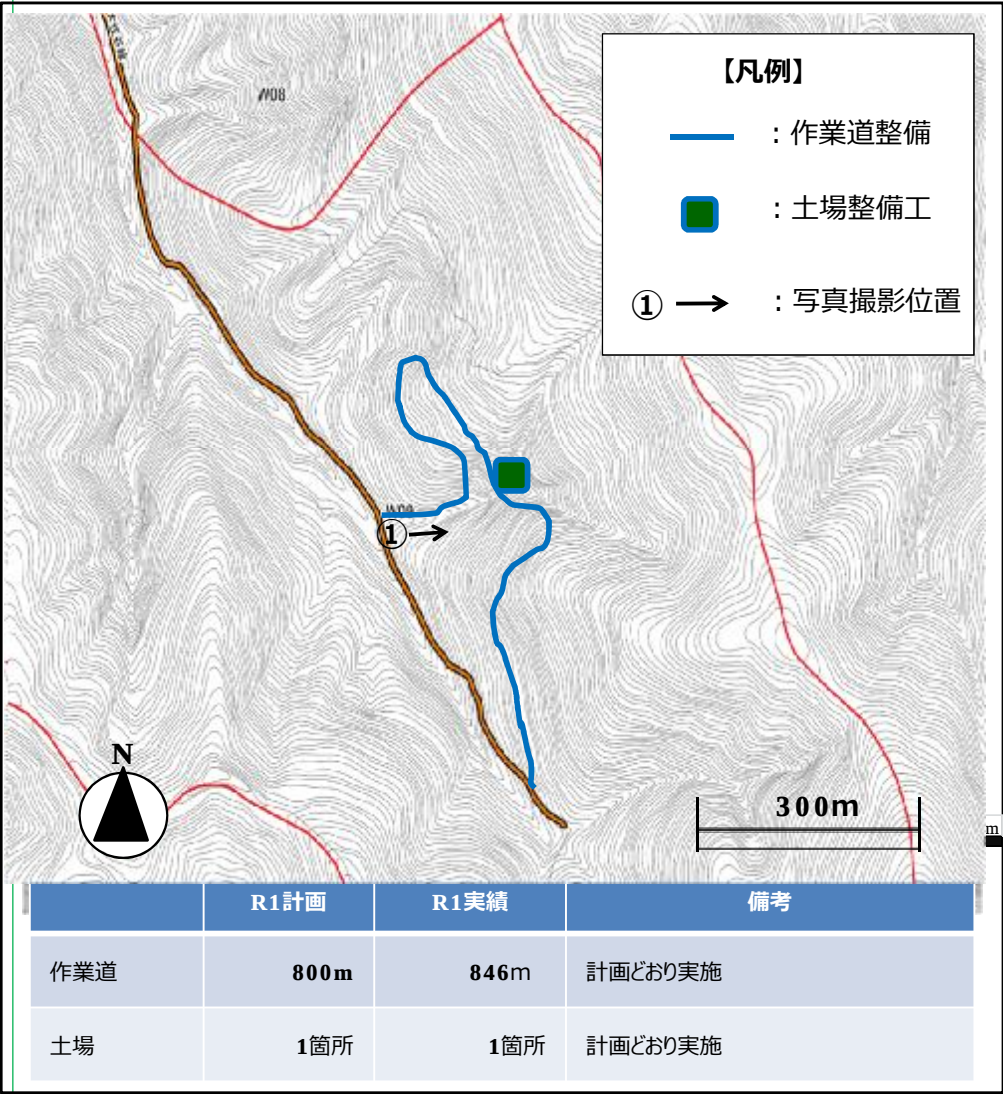


R2.1.7

R2.3.6

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

【事業地】 (16)河内長野市こぶか おおすみだに小深大住谷地区
【事業者】 大阪府森林組合南河内支店
(平面図)



①路面工
(施工前)



R1.5.24

(施工後)



R1.10.9

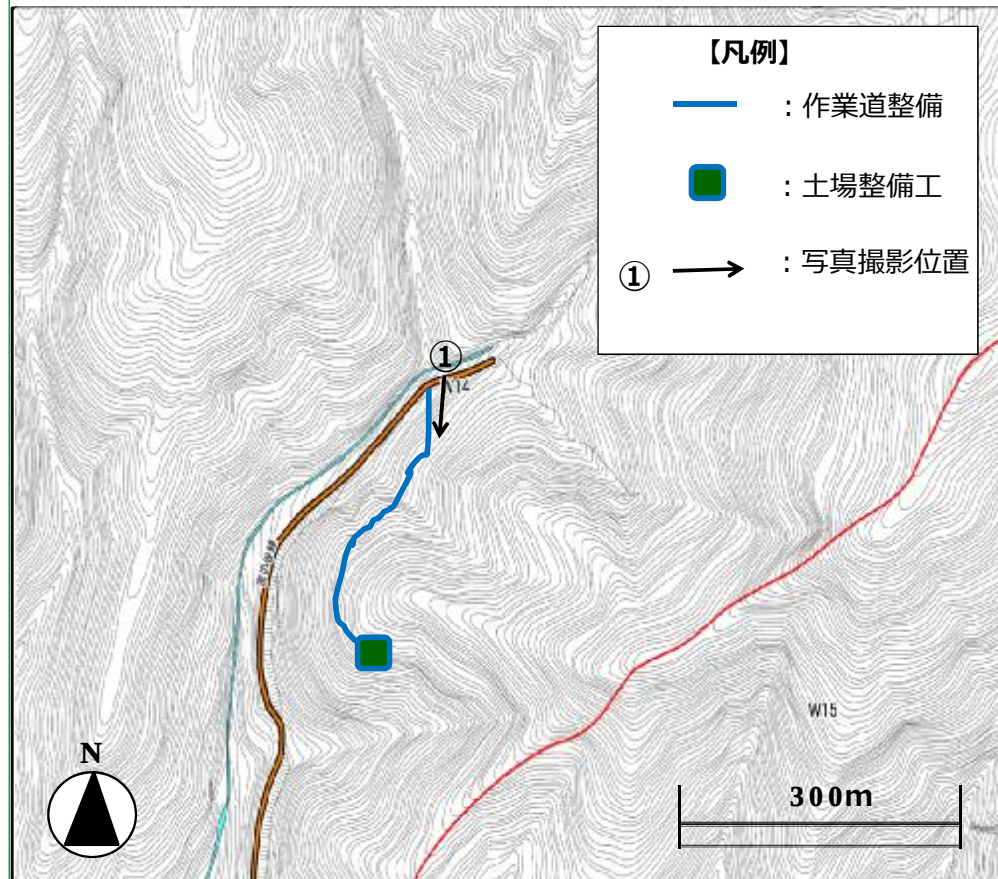
令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

(3) - 2

【事業地】 (17)河内長野市石見川北部地区

【事業者】 大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



	R1計画	R1実績	備考
作業道	280m	266m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

①路面工
(施工前)



R1.12.12



(施工後)

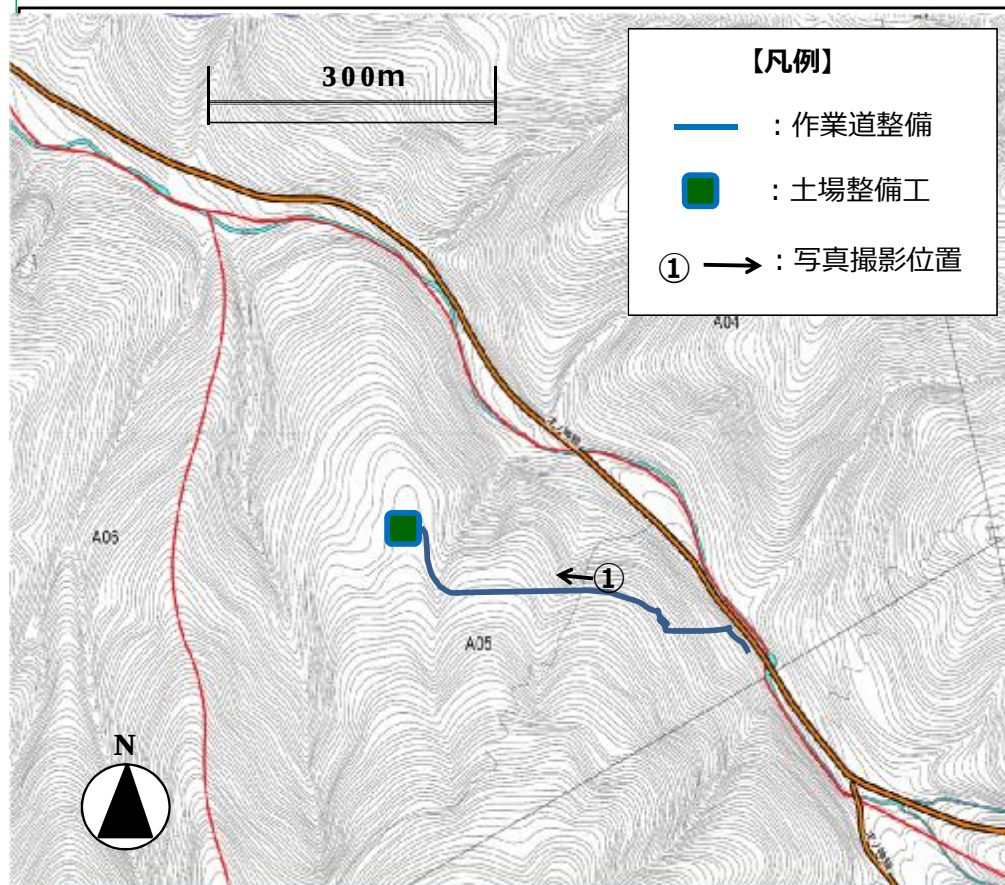


R2.4.20

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

(3) - 2

【事業地】 (21)河内長野市岩瀬地区
【事業者】 大阪府森林組合南河内支店
(平面図)



①路面工
(施工前)



R1.9.12

(施工後)



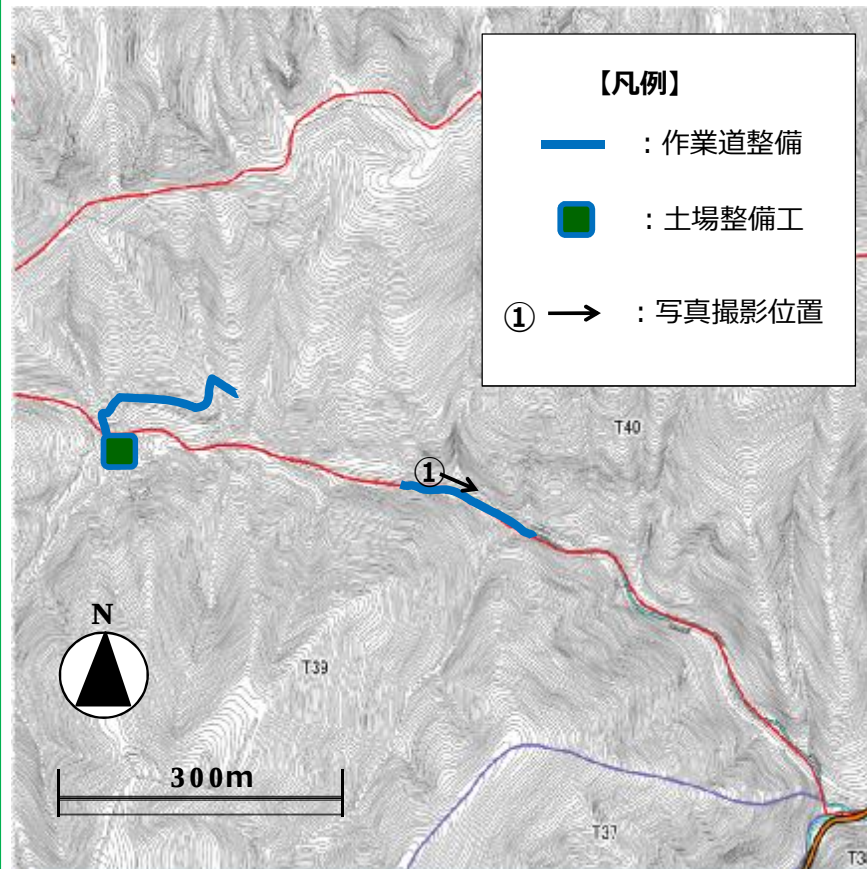
R2.1.12

	R1計画	R1実績	備考
作業道	450m	425m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

【事業地】 (26)河内長野市滝畑御光滝地区

【事業者】 大阪府森林組合南河内支店

(平面図)



①路面工

(施工前) H30台風21号被災後



R1.6.25

(施工中) 支障木の除去後



R1.11.18

(施工後)



R2.5.12

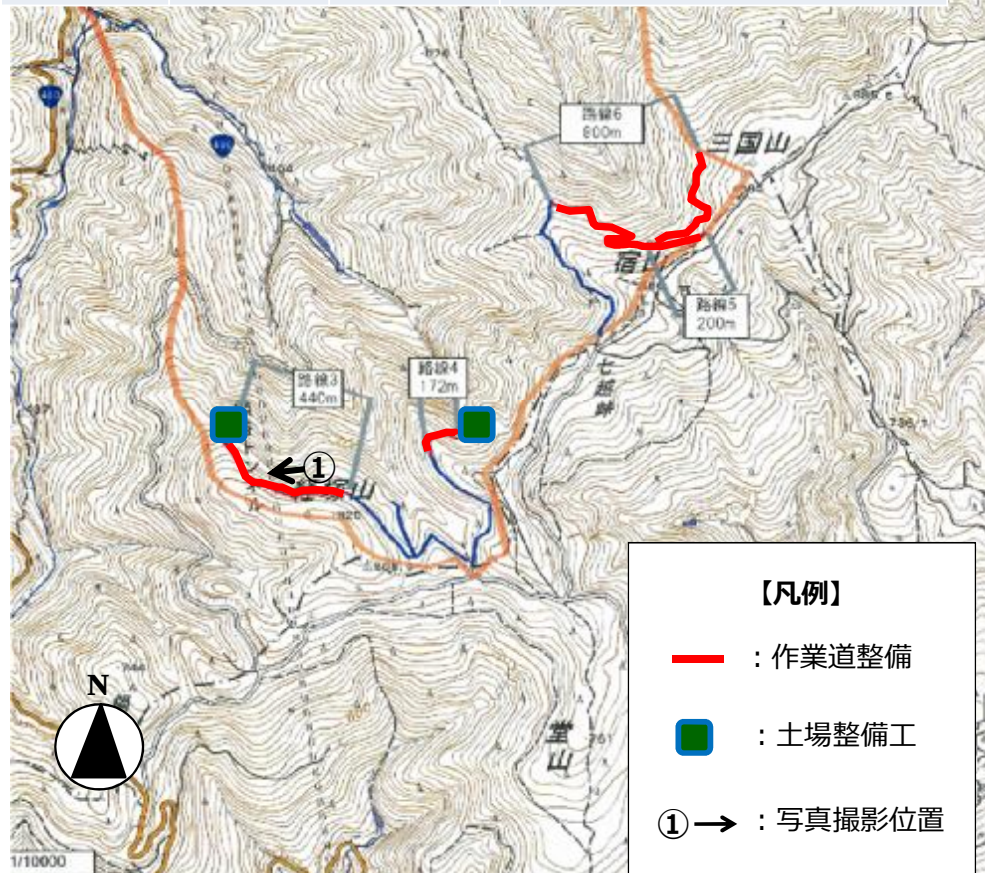
	R1計画	R1実績	備考
作業道	300m	350m	計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

(3) - 2

【事業地】(27) 和泉市父鬼七越地区
 【事業者】大阪府森林組合泉州支店
 (平面図)

	R1計画	R1実績	備考
作業道	1,610m	1,780m	計画どおり実施
土場	2箇所	2箇所	計画どおり実施



①路面工 施行前



R1.09.19

施行後



R2.07.22

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

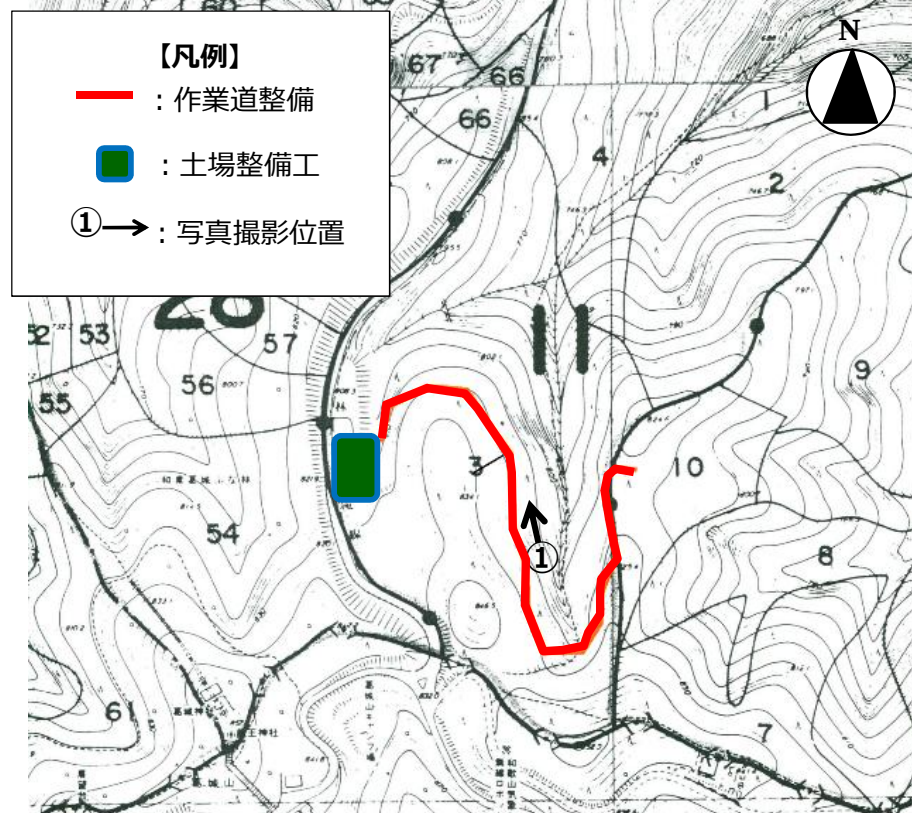
(3)－2

【事業地】（31）岸和田市大沢牛滝地区

【事業者】大阪府森林組合泉州支店

（平面図）

	R1計画	R1実績	備考
作業道	420m	450m	計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施



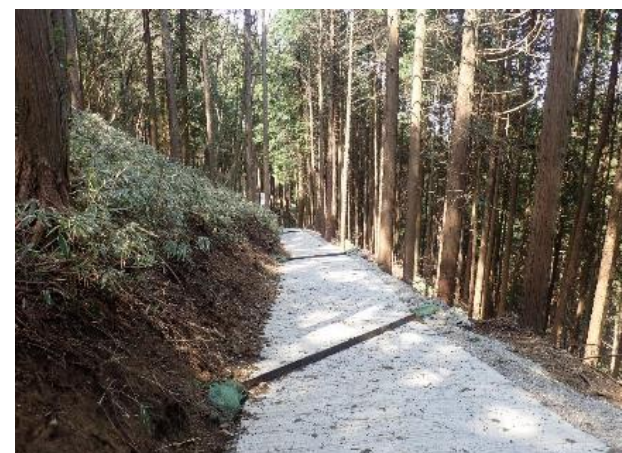
①路面工

施行前



R1.07.01

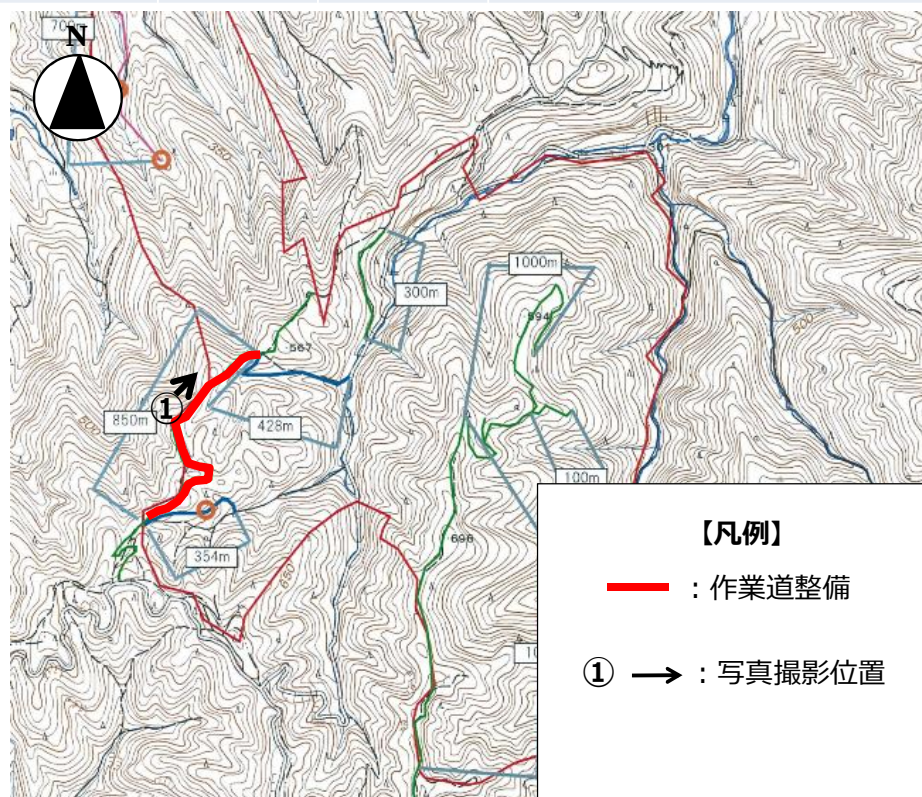
施行後



R2.03.25

【事業地】(32) 貝塚市木積地区^{こづみ}
 【事業者】大阪府森林組合泉州支店
 (平面図)

	R1計画	R1実績	備考
作業道	900m	960m	計画どおり実施
土場	0箇所	0箇所	

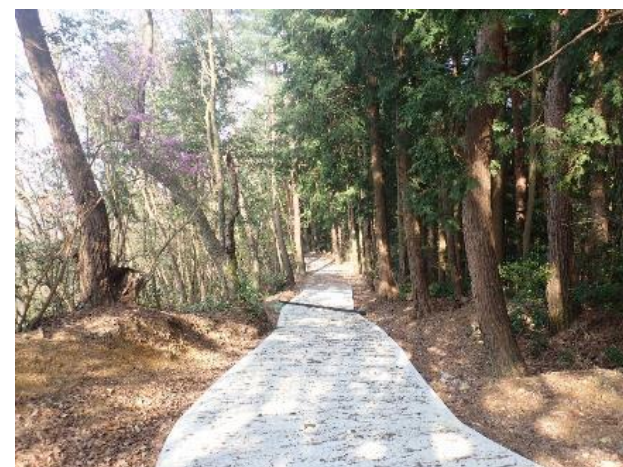


①路面工 施行前



R1.07.01

施行後



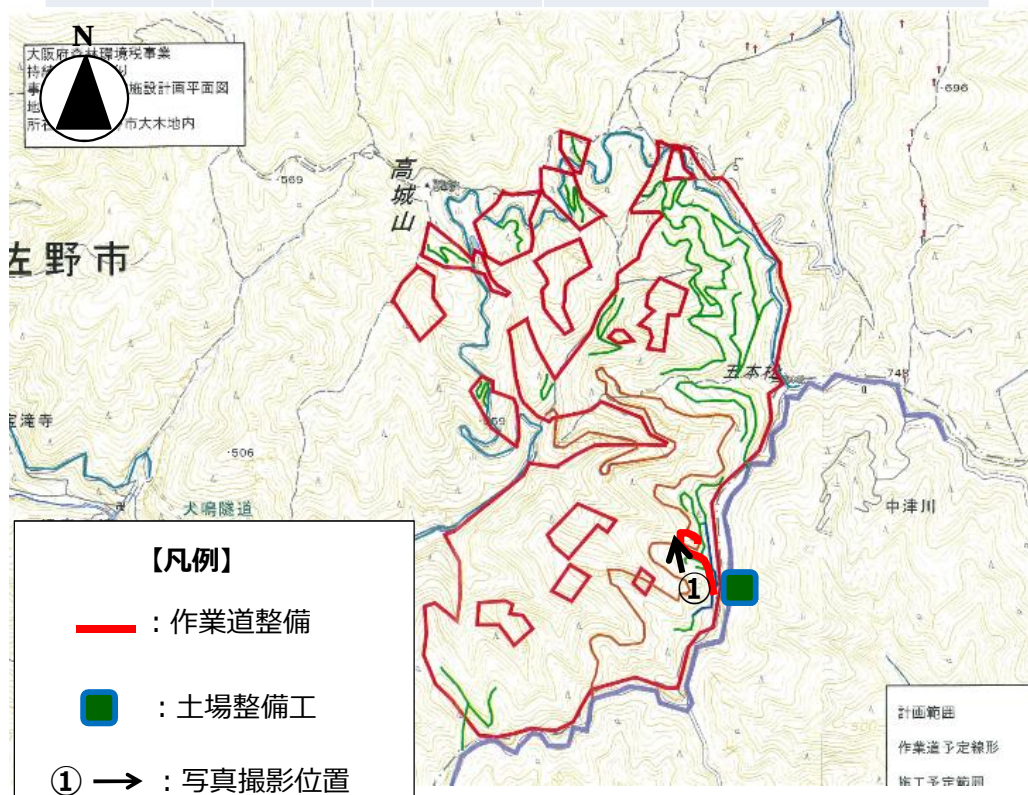
R2.03.25

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（基盤づくり）実績

(3) - 2

【事業地】(34) 泉佐野市^{おおき}大木地区
 【事業者】大阪府森林組合泉州支店
 (平面図)

	R1計画	R1実績	備考
作業道	200m	190m	概ね計画どおり実施
土場	1箇所	1箇所	計画どおり実施



①路面工 施行前



R2.02.19

施行後



R2.07.22

令和元年度施工 土場整備工



土場整備工

(河内長野市小深・作業道途中)

R1.10.10



土場整備工

(河内長野市御光滝・作業道途中)

R2.03.23



土場整備工

(岸和田市牛滝・作業道入口)

R2.02.19



土場整備工

(泉佐野市大木・作業道入口)

R2.03.25

〔参考〕平成30年度整備 作業道及び土場の活用状況



R1.10.04

土場整備後 土場利用状況（能勢町山辺）



R1.12.19



R2.03.27

作業道利用状況（河内長野市滝畑燈明岳）



R1.12.05

令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要							
事業実施年度	令和元年度						
評価年月日							
① 概要等	① 施策区分	健全な森林を次世代へつなぐ取組み					
	事業名	持続的な森づくり推進事業(基盤づくり)					
	事業概要	基幹作業道の舗装・集積土場の整備					
	事業開始年度	平成28年度					
② 事業の目的				④ 事業の内容			
② 所有形態が小規模・分散化した森林をまとめた団地として集約化し、基幹的な作業道の舗装や木材集積土場の設置などの基盤づくりを進め、計画的な間伐促進を図るとともに、安定的に木材を供給できる体制を構築する。				④ 事業の内容 基幹的な作業道や木材集積土場の設置など、計画的な間伐促進を図るための基盤づくりに必要な経費を助成 ○事業箇所数: 32地区 (4,600ha) ○事業主体: 森林所有者から森林施業を委託された林業事業体 ○補助率: 定額 (工種毎の補助単価に基づき算出) ○対象森林: ①集約化により一体的な森林管理が可能な、区域面積が概ね100ha以上の人工林で、森林法に基づく森林経営計画が作成され、計画的な間伐や搬出が見込まれること。 ②森林所有者や林業事業体が、本事業により整備した基盤施設を活用し、間伐や植栽等の森林経営を長期にわたって継続的に実施する見込みがあること。			
2 自己評価							
(1) 事業実績							
⑤ 実績検証の内容				⑤ 実績検証の内容			
指標・検証方法		計画	実績	評価区分		理由	
指標	事業の地区数	24地区	24地区	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない		基幹作業道において必要な区間の舗装と、集約化団地に必要な集積土場の整備については、計画どおり実施することができた。	
検証方法	基幹作業道の舗装	15,267m	16,128m				
指標	事業の完成検査	25箇所	25箇所				
検証方法	集積土場の整備 事業の完成検査						
(2) 事業効果 (令和3年度に最終評価予定)							
⑥ 効果検証の内容		指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由	
⑥ 効果検証の内容	指標	34箇所・4,800haの森林の健全化			□ 妥当である	□ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない	
	検証方法	間伐実施量の確認 間伐材搬出量の確認 協定締結した森林所有者数の確認					
(3) 自己評価 (総合) (令和3年度に最終評価予定)							
⑦ 自己評価		総合評価		理由			
□ 評価できる							
□ 概ね評価できる							
□ あまり評価できない							
□ 評価できない							
3 第三者評価							
⑧ 第三者評価				大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見			

(4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）

【目的】

林業技術や森林経営等の知識・ノウハウを持ち、地域の森林管理の中核を担う森林経営リーダー（若手従事者（後継者））や川上から川下までの関係者とネットワークを構築し、府内産材に関する流通等のコーディネーター役となる人材を育成し、長期にわたる森林経営の適切な実施や府内産材の需要拡大により、持続的な森づくりを推進する。

【事業概要】

森林経営リーダーや府内産材コーディネーターを育成するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。

○事業主体：大阪府

○事業内容等：

①府内産材コーディネーターの育成（10名）

- ・木材流通業者を対象に木材業経営についての講義を基軸に川上・川下従事者での意見交換を含めた研修を実施。
- ・研修回数：3回/年（1年で終了）[H28]

②森林経営リーダーの育成（12名）

森林経営リーダーの育成講座は、H29初年度に若手育成等現場ニーズに対応して17名の受講者で実施。

- ・森林経営について先進的な取組みを行う林業従事者や民間企業、森林・木材に関する学識者等への講師派遣の依頼により、森林経営や施業技術、集約化プランニング等の講義や現地研修等を実施。
- ・研修回数：4回/年×3か年＝全12回[H29～R1で実施]

【当初事業計画】

単位（事業費）：千円

区 分	全体計画		H28		H29		H30		R1	
	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費
府内産材コーディネーター	10	1,050	10	1,050	—	—	—	—	—	—
森林経営リーダー	12	3,150	—	—	12	1,050	12	1,050	12	1,050
合 計	22	4,200	10	1,050	12	1,050	12	1,050	12	1,050

【実績】

単位：人

区 分	H28	H29	H30	R1
	人数	人数	人数	人数
府内産材コーディネーター	10	—	—	—
森林経営リーダー	—	17	17	17
合 計	10	17	17	17

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（人材育成）実績

■ 持続的な森づくり・森林経営講座 ※若手森林経営リーダーの育成も含め 17名が参画

◆ 森林経営リーダー 17名育成（育成のための研修会開催 4回）

日 時	内 容	実施目的
11月19日(火) 10:00～15:00	【講習】林業架線作業主任者免許試験受験準備講習 講師: 静岡県林業技術者協会副会長 天野 忠俊氏 ※17名の内12名合格	森林経営のために必要な林業架線作業主任者免許取得のため、平成30年度に引き続き受験準備講習を実施。
12月5日(木) 14:00～16:00	【講習】林業機械を用いた架線集材作業講習 講師: 奈良県森林組合連合会職業訓練指導員 中井 理氏	森林経営のために必要な林業架線作技術の習得ため実施。
1月23日(木) 10:00～16:00	【実地研修】スイングヤーダを用いた架線集材作業実地研修 講師: レンタルのニッケン 林野 一樹氏	森林経営のために必要な林業架線作技術の習得ため実施。
3月30日(月) 15:00～17:00	【意見交換会】森林経営講座成果報告会	3年間実施してきた森林経営リーダー育成講座の最終年度にあたり、受講者から研修成果や今後の抱負を発表して頂く報告会を実施。

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（人材育成）実績

(4) - 2



【スイングヤード架線集材作業講習の様子】
R元.12.5



【スイングヤード架線集材作業実地研修の様子】
R2.1.23



【森林経営講座成果報告会の様子】 R2.3.30

【受講者からの主な声】

- 架線集材技術、技術向上のきっかけとなった。
- 知識は身についたが、これから現場で技術を磨いていきたい。
- 架線集材、コストも考えて活用したい。
- 先進地視察で新たな知見を得られた。
- 川上から川下までの交流は色々な考えを知ることができて良かった。
- 木材の需要を把握することの重要性も分かった。
- 今後もこの受講者のメンバーで機会があれば意見交換をしたい。

【事業者からの主な声】

- 受講生が得た技術をほかの職員にも広げていきたい。
- 現在は作業路網と林業機械による施業がほとんど。架線でないと集材できないエリアも多く、受講者がリーダーとなって施業を検討してもらいたい。

【今後の活動予定】

- 独自に、社内研修として架線集材の実地研修を行う予定。
- 実際の施業計画において受講者を中心に架線集材を検討する予定。

令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9566

1 事業概要				(単位:千円)			
事業実施年度		令和元年度					
評価年月日							
実施区分		健全な森林を次世代へつなぐ取組み					
事業名		持続的な森づくり推進事業(人材育成)					
事業概要		森林経営リーダー・府内産材コーディネーター・人材育成					
事業開始年度		平成28年度					
② 事業の目的		林業技術や森林経営等の知識・ノウハウを持ち、地域の森林管理の中核を担う森林経営リーダー(若手従事者(後継者))や川上から川下までの関係者とネットワークを構築し、府内産材に関する流通等のコーディネーター役となる人材を確保し、長期にわたる森林経営の適切な実施や府内産材の需要拡大により、持続的な森づくりを推進する。					
③ 事業費				④ 事業の内容			
年度別推移		H28	H29	H30	R1	合計	
当初計画(千円)		1,050	1,050	1,050	1,050	4,200	
現計画(千円)		300	733	609	1,767	3,409	
執行額(千円)		300	733	609	1,113	2,755	
森林経営リーダーや府内産材コーディネーターを確保するため、専門家等による講座や現地研修等を開催する。 ○事業主体:大阪府 ○事業内容等: ①府内産材コーディネーターの育成(10名) ・木材流通業者を対象に木材業経営について講義を基軸に川上・川下従事者での意見交換を含めた研修を実施。 ・研修回数:3回/年(1年で終了)[H28] ②森林経営リーダーの育成(12名) ・森林経営について先進的な取組みを行う林業従事者や民間企業、森林・木材に関する学識者等への講師派遣の依頼により、森林経営や施業技術、集約化プログラミング等の講義や現地研修等を実施。 ・研修回数:4回/年×3か年＝全12回[H29～H31で実施]							

2 自己評価				
(1) 事業実績				
指標・検証方法		計画	実績	評価区分
指標	森林経営リーダー 講座受講者数確認	12人	17人	
⑤ 実績検証の内容		■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない		
理由				

指標・検証方法		計画	実績	評価区分	理由			
⑥ 効果検証の内容	指標	森林管理、府内産材の流通・需要拡大に関する理解度の向上						
	検証方法	受講者への聞き取りによる意識調査						
	指標	今後の課題解決に向けた意志確認						
	検証方法	受講者への聞き取りによる意識調査						
(3) 自己評価(総合) (令和3年度に最終評価予定)								

(3) 自己評価 (総合) (令和3年度に最終評価予定)											
⑦ 自己評価				総合評価							
				理由							

3 第三者評価											
⑧ 第三者評価											
大阪府森林環境整備事業評価審議会の意見											

(5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源（林地残材等）活用）

【目的】

人工林や里山林で伐採後放置された林地残材（未利用材）の有効活用により森林の健全化を図るため、林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等が林地残材を自ら継続的・安定的に搬出するために必要な仕組みを構築する。

【事業概要】

林業事業者や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等に対する林地残材搬出用機械等の貸与や搬出された材を活用する木質バイオマス利用事業者等とのマッチングを行い、林地残材を継続的・安定的に搬出する仕組みづくりを担う事業者を選定し、運営を委託。

○事業主体：大阪府

○受託者：特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会
(提案公募により委託先選定)

○契約期間：平成30年1月31日から令和2年3月16日

○搬出活動地：

- ・NPOやボランティア団体が里山保全活動を実施している地区
- ・持続的な森づくり推進事業を実施する地区 等

○事業予定（令和元年度）

- ・搬出活動参加延べ人数 300人
- ・搬出活動中核団体数 6団体

【当初事業計画】

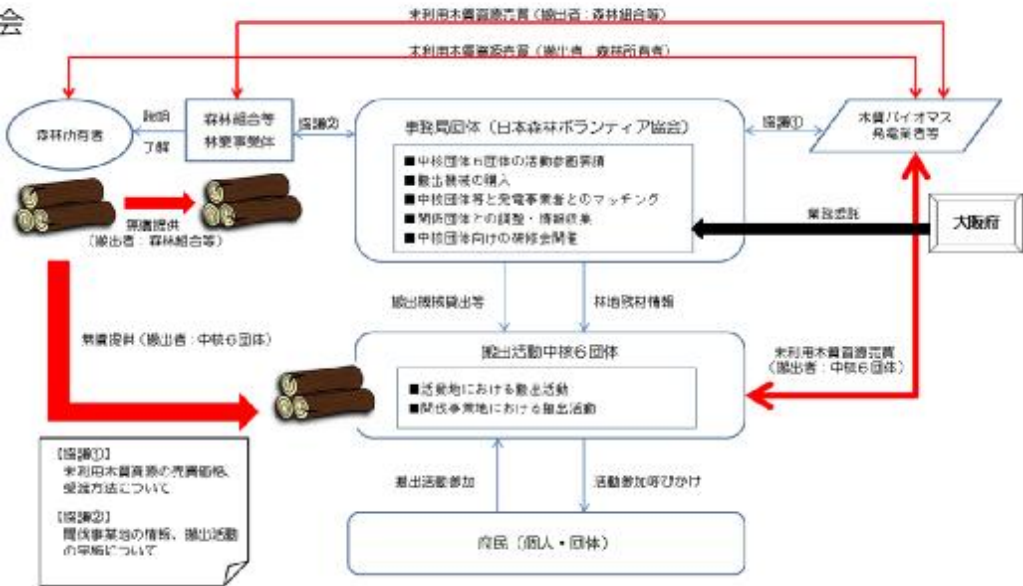
単位：千円

年度	全体計画	H28	H29	H30	R1
事業費	24,722	2,851	18,071	2,400	1,400

	H29	H30	R1
参加延べ人数	100	200	300
中核団体数	2	4	6

《事業の仕組み》

未利用木質資源（林地残材等）活用体系図



【実績】

	H29	H30	R1
参加延べ人数	75	202	668
中核団体数	5	5	6

令和元年度 持続的な森づくり推進事業（未利用木質資源（林地残材等）活用）実績

令和元年度事業内容

（事業者名）特定非営利活動法人 日本森林ボランティア協会

（事業内容）未利用搬出活動の中核となる団体を確保し、搬出活動に必要な機材を貸与、併せて搬出作業技術の向上を目的とした研修等を実施すると共に、未利用材利用事業者とのマッチングを行うことにより、安定的・継続的に未利用材を搬出、利用するシステムを構築する

（契約期間）H30年1月31日～R2年3月16日

（契約金額）18,071,696円

（搬出活動中核団体数）6団体（・箕面とどろみの森クラブ（箕面市）・茨木里山を守る会（茨木市）・茨木ふるさとの森づくり隊（茨木市）
・島本森のクラブ（島本町）・森林ボランティアトモロス（河内長野市）・アグリフォレスト・永遠の森（千早赤阪村））

（搬出活動・林内車研修等）延べ人数 668人 （参考：搬出材積） 約17m³



【ポータブルウインチを用いた搬出作業】

R元.10.28



【林内車を用いた搬出作業】

R2.2.23



【林内車を用いた搬出作業】

R2.3.3

今後の予定

- ・搬出した間伐材の販売収入で、交通費、燃料費等の必要経費(人件費を除く)を賄うことができおり、中核団体は事業終了後の今年度以降もこの仕組みを維持して活動を継続することができる。
- ・そのため、引き続き、搬出活動中核団体を対象に機材を貸与するとともに、未利用木質資源活用について必要なアドバイスを行っていく。
- ・併せて、今後拡大していく他の活動ボランティア団体やその活動場所に関して、森林所有者や林業事業者などとの調整を、必要に応じて支援していく。

令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要							(単位:千円)
事業実施年度	令和元年度						
評価年月日							
① 概要	施策区分	健全な森林を次世代へつなぐ取組み					
事業等	事業名	持続的な森づくり推進事業(未利用木質資源(林地残材等)活用)					
	事業概要	搬出体制の構築に向けた事務局の設置・活動状況を周知					
	事業開始年度	平成28年度					
② 事業の目的	人工林や里山林で伐採後放置された林地残材(未利用材)の有効活用により森林の健全化を図るため、林業事業体や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等が林地残材を自ら断続的・安定的に搬出するために必要な仕組みを構築する。						
③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1	合計	
	当初計画(千円)	2,851	18,071	2,400	1,400	24,722	
	現計画(千円)	2,255	15,009	2,021	1,400	20,685	
	執行額(千円)	2,255	15,009	2,021	1,329	20,614	
④ 事業の内容	林業事業体や森林所有者、地域で活動する里山保全活動団体等に対する林地残材搬出用機械等の貸与や搬出された材を活用する木質バイオマス利用事業者等とのマッチングを行い、林地残材を継続的・安定的に搬出する仕組みづくりを担う事業者を選定し、運営を委託する。						

2 自己評価

(1) 事業実績							
⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由		
	指標	活動中核団体数	6団体	6団体			
	検証方法	実績の確認					
	指標	搬出活動参加延べ人数	300人	668人	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ あまり妥当でない □ 妥当でない		
	検証方法	実績の確認					
					R元年度の事業実績については、搬出活動参加延べ人数及び、活動中核団体数は計画値を上回った。		

(2) 事業効果 (令和3年度に最終評価予定)							
⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由		
	指標	関係者の理解度の向上					
	検証方法	森林所有者、活動参加者への意識調査					
	指標	搬出活動参加延べ人数					
	検証方法	実績の確認					
	指標	活動中核団体数					
	検証方法	実績の確認					
	検証方法						

(3) 自己評価(総合)(令和3年度に最終評価予定)									
⑦ 自己評価		理由							
総合評価									
		</							

3 第三者評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(6) 子育て施設木のぬくもり推進事業

【目的】

保育園や幼稚園の子育て施設における木材利用、とりわけ子どもたちが直接触れる床や壁等内装での利用を促進することにより、ストレス緩和や室内の快適性を高めるなど、子どもの育成環境に良い効果を与えるとともに、森林の大切さや木材に対する理解を深める「木育」の促進につなげる。

【事業概要】

内装（床・壁）木質化等に対して、その必要となる経費を支援する

- 対象施設：大阪府内の幼稚園及び認可保育所、認定こども園、地域型保育事業を行う事業所
- 事業主体：幼稚園等の施設設置者、地域型保育事業の事業主体
- 補助率：1/2（上限2,500千円）
- 補助要件：
 - ・原則、『おおさか材』（認証材）を使用する
 - ・市町村が事業主体となる場合は、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づく、市町村木材利用方針が策定されていること
 - ・整備後の効果等を把握するためのアンケート調査への協力
 - ・施設の職員や施工事業者が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする

【当初事業計画】

単位：千円

年 度	全体計画	H28	H29	H30	R1
実施箇所数	150	30	40	40	40
事業費	376,500	75,300	100,400	100,400	100,400

【実 績】

年 度	H28	H29	H30	R1	計
実 施 箇所数	38	31	31	31	131

令和元年度 子育て施設木のぬくもり推進事業 事業実績

■ 事業実績

【募集期間】 1次募集：4月15日（月）～7月31日（水） 追加募集：8月26日（月）～ 10月16日（水）
 【認定数】 31施設 （内訳） 北部：3、中部：18、南河内：3、泉州：7
 【実績額】 54,774千円 【おおさか材】 55m³

番号	市町村名	園 名	内 容	床面積（㎡）	おおさか材 使用量（m ³ ）	木育リーダー
1	守口市	白百合幼稚園	床	104.38 m ²	1.31 m ³	園長
2	東大阪市	桃の里幼稚園	床	51.60 m ²	0.62 m ³	保育士×2
3	堺市中区	深井中央こども園	腰壁・壁面・天井	184.70 m ²	2.39 m ³	園長
4	枚方市	天の川保育園	床	115.36 m ²	1.74 m ³	副園長
5	大阪市西淀川区	香蓼保育園	床	112.97 m ²	1.64 m ³	保育士×2
6	大阪市此花区	秀野保育園	床	138.49 m ²	1.62 m ³	保育士×2
7	河南町	中村こども園	床	235.60 m ²	3.53 m ³	園長、副園長
8	大阪市阿倍野区	三明保育園	床・造り付け戸棚・建具	37.32 m ²	0.76 m ³	保育士
9	高石市	加茂保育園	ウッドテラス	120.81 m ²	3.41 m ³	保育士×2
10	大阪市東淀川区	相川保育園	床	156.14 m ²	1.83 m ³	保育士×2
11	東大阪市	本庄こども園	床	78.19 m ²	1.11 m ³	事務職員
12	能勢町	みどり丘幼稚園	床・腰壁	135.86 m ²	2.14 m ³	園長
13	藤井寺市	ななこども園	ウッドテラス	91.02 m ²	4.56 m ³	保育士×2
14	枚方市	清香学園幼稚園	腰壁・造り付け戸棚・建具	49.25 m ²	0.56 m ³	保育士
15	東大阪市	さつきこども園	床・木製間仕切壁・造り付け戸棚	121.13 m ²	1.75 m ³	保育教諭

番号	市町村名	園 名	内 容	床面積 (㎡)	おおさか材 使用量 (㎡)	木育リーダー
16	大阪市城東区	野江幼稚園	床・腰壁	102.38 ㎡	2.23 ㎡	保育士
17	東大阪市	むぎの穂保育園	腰壁	42.70 ㎡	0.69 ㎡	園長
18	八尾市	ゆう安中東こども園	床	296.58 ㎡	3.99 ㎡	保育教諭
19	和泉市	信太保育園	床・固定式本棚	31.48 ㎡	0.86 ㎡	園長、保育教諭
20	堺市西区	コアラ園	床・壁・下足箱	100.14 ㎡	1.90 ㎡	園長
21	富田林市	寺池台保育園	壁・固定棚	29.01 ㎡	0.31 ㎡	園長
22	門真市	Baby leaf	床・壁・ロフト	42.50 ㎡	1.07 ㎡	事務職員
23	四條畷市	迦の森こども園	床・壁・中二階・本棚・本立	46.41 ㎡	3.47 ㎡	保育士
24	堺市	認定こども園たけしろ幼稚園	壁・造付棚	106.61 ㎡	1.40 ㎡	園長
25	高石市	認定こども園清高幼稚園	壁・造付棚	112.00 ㎡	1.41 ㎡	園長
26	堺市	なかよしの森 認定こども園（堺区園舎）	壁	129.85 ㎡	1.52 ㎡	園長
27	大阪市福島区	海東ひばりベビーセンター	床・壁	67.18 ㎡	0.82 ㎡	園長
28	枚方市	青桐保育園	床	67.31 ㎡	1.13 ㎡	園長、保育士
29	吹田市	企業主導型保育園ohana	ウッドデッキ	28.80 ㎡	2.04 ㎡	保育士×2
30	吹田市	保育園ハイタッチキッズ	床・腰壁	77.27 ㎡	1.70 ㎡	保育士
31	大阪市住吉区	万代幼稚園	造り付け戸棚	60.59 ㎡	1.16 ㎡	保育士
合 計				3,073.63 ㎡	54.67 ㎡	41名

■主な実施例

桃の里学園



R1.9.27

中村こども園



R2.3.16

加茂保育園



R1.11.21

さつきこども園



R2.2.26

むぎの穂保育園



R2.1.30

コアラ園



R2.3.12

B a b y L e a f



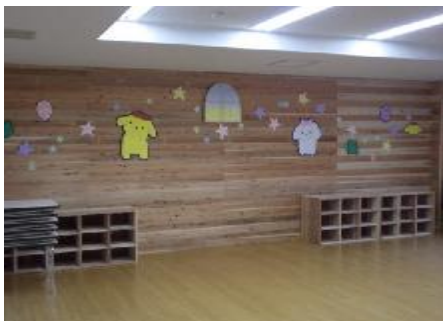
R2.3.10

迦の森こども園



R2.3.19

清高幼稚園



R2.2.14

海東ひばりベビーセンター



R2.3.19

o h a n a



R2.3.18

万代幼稚園



R2.3.4

■企業主導型保育園 o h a n a（吹田市）

○ 広くなったウッドデッキの園庭でシャボン玉遊び

→園長先生の声

玄関、園庭共に、以前はコンクリートむき出しで冷たい雰囲気でしたが、木質化したことにより、ぬくもりもあり、子どもたちがより一層楽しめる環境になりました。



R2.6.15

■三明保育園（大阪市）

○天然木の温かさや明るさを体感する保育室

→園長先生の声

園庭開放で訪れた子どもたちは、それぞれ好きな遊びや天然木の上をハイハイし、楽しんでいました。また、お母さんたちも「気持ちがいいですね」とお話しされていました。天然木の温かさや明るさを体感していただきました。



R2.7.2

■ 中村こども園（南河内郡河南町）

○木のぬくもりを感じる保育室（遊戯室）での体育教室

→木育リーダーの声

全身運動でからだを使う時間に木に触れることにより、その柔らかさ・感触・香りや自然のやさしさを感じるなかで、心もリラックスし安心感をもって過ごす時間となっている。

自然がもたらしてくれる心地良さを感じることで、心も体も元気がましてくるように感じます。



R2.7.13

■ 信太保育園（和泉市）

○園児向け木のふれあいあそび

→木育リーダーの声

木の香り漂う保育室で絵本や遊具遊びを行いました。さらさらの木の質感が特にお気に入りでした。最後に木のお話をしました。「お散歩に行くとある木かな？」「大切にしないといけないね」と保育士の説明に答えていました。



R2.5.21

H30.4～11月

市町村の子育て施設関係の会議にて事業説明・募集要項配布
計22回説明、出席園数：延べ約550園

H30.6月 社会福祉団体の会合にて事業説明・募集要項配布
出席者数：約110名（団体所属の園の園長、理事長等）

6月 市町村福祉子ども担当者会議にて、事業説明・募集要項配布
出席：44市町村の福祉子ども施策担当者

8月 府福祉担当課を通じ2次募集の周知を実施（募集要項配布） 対象：44市町村

H31.3月 平成31年度実施希望アンケート調査実施
対象：社会福祉団体所属園、保育園連盟所属園、
市町村子育て関係会議出席園、市町村会議出席園
アンケート結果：65園が実施を検討との回答

R 1.6月 社会福祉団体の会合にて事業説明・募集要項配布
出席者数：約100名（団体所属の園の園長、理事長等）

R 1.7月 市町村福祉子供担当部署に対し、事業募集の周知依頼文を送付

R 1.9月 市町村福祉子ども担当者会議にて、事業説明・募集要項配布
出席：44市町村の福祉子ども施策担当者

R 1.10月 市町村福祉子供担当部署に対し、事業募集の周知依頼文を送付

令和元年度 大阪府森林環境整備事業 評価シート

担当課名	みどり推進室森づくり課
担当グループ名	森林支援グループ
連絡先	(06) 6210-9556

1 事業概要								(単位:千円)	
事業実施年度	令和元年度								
評価年月日	令和2年9月23日								
① 概要	施策区分	健全な森林を次世代へつなぐ取組み							
事業名	子育て施設木のぬくもり推進事業								
事業概要	木育・内装木質化推進								
事業開始年度	平成28年度								
② 事業の目的	幼稚園、保育所、認定子ども園の子育て施設を対象に、床や壁など、内装の木質化を支援することにより、子どもの生育環境の充実を図るとともに、子どものうちから木材に対する理解を深める「木育」の促進、及び府内の森林資源の循環利用による健全な森林の保全に資することを目的とする。								
③ 事業費	年度別推移	H28	H29	H30	R1	合計			
当初計画(千円)	75,300	100,400	100,400	100,400	376,500				
現計画(千円)	67,934	52,231	46,175	64,150	230,490				
執行額(千円)	67,934	52,231	46,175	55,020	221,360				
④ 事業の内容	・内装(床・壁)木質化に対して、その必要となる経費を支援する ○対象施設:府内の幼稚園及び認可保育所(認定子ども園を含む) ○補助率:1/2(上限2,500千円) ○補助要件: ・原則、『おおさか材』(認証材)を使用する ・施設の職員等が木育リーダーとなり、内装木質化や木材の良さを地域に広くPRする								

2 自己評価

(1) 事業実績

⑤ 実績検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	子育て施設の内装木質化			
	検証方法	木質化した園数	40園	31園	
	指標	おおさか材使用量	60㎡	55㎡	
	検証方法	おおさか材使用量の確認			
⑥ 効果検証の内容	指標	木育リーダーの人数	40人	41人	
	検証方法	木育リーダーの人数の確認			
(2) 事業効果(令和3年度に最終評価予定)					
⑥ 効果検証の内容	指標・検証方法	計画	実績	評価区分	理由
	指標	利用者の木材利用に関する理解度の向上			
	検証方法	アンケートの実施			
⑦ 自己評価					
(3) 自己評価(総合) (令和3年度に最終評価予定)					
⑦ 自己評価	総合評価			理由	

3 第三者評価

⑧ 第三者評価	大阪府森林環境整備事業評価師審議会の意見				
---------	----------------------	--	--	--	--